

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 03 月 26 日

愛知県信用金庫健康保険組合

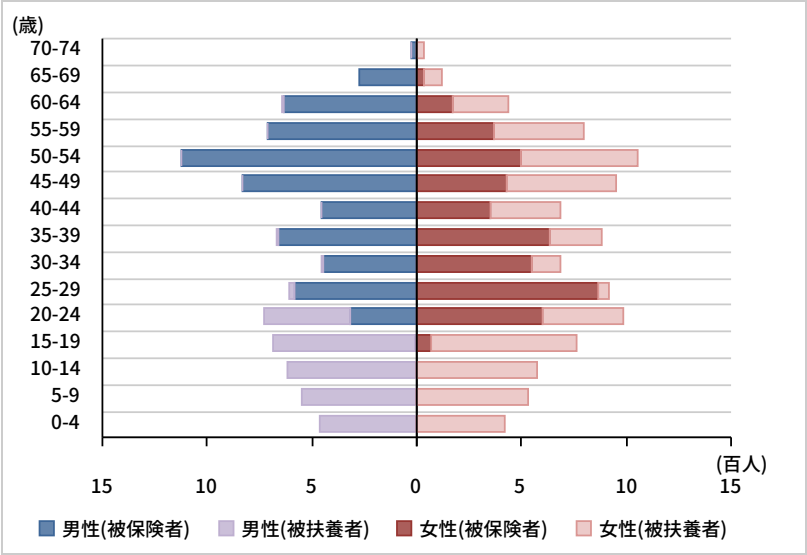
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	57217		
組合名称	愛知県信用金庫健康保険組合		
形態	総合		
業種	金融業、保険業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	10,640名 男性56.5% (平均年齢45.7歳) * 女性43.5% (平均年齢37.7歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	19,123名	-名	-名
適用事業所数	36カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	36カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	96‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	3	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	16	-	-	-	-
	保健師等	0	1	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)		全体	7,426 / 8,123 = 91.4 %				
		被保険者	5,828 / 5,872 = 99.3 %				
		被扶養者	1,598 / 2,251 = 71.0 %				
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)		全体	563 / 958 = 58.8 %				
		被保険者	506 / 858 = 59.0 %				
		被扶養者	57 / 100 = 57.0 %				

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	57,003	5,357	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	15,467	1,454	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	39,791	3,740	-	-	-	-
	疾病予防費	304,890	28,655	-	-	-	-
	体育奨励費	7,019	660	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	1	0	-	-	-	-
	小計 …a	424,171	39,866	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	6,059,317	569,485	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	7.00		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	7人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	315人	25～29	585人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	450人	35～39	656人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	457人	45～49	830人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,126人	55～59	708人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	638人	65～69	274人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	29人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	71人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	602人	25～29	868人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	551人	35～39	631人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	350人	45～49	431人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	499人	55～59	372人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	168人	65～69	30人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	2人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	462人	5～9	548人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	619人	15～19	679人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	415人	25～29	29人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	7人	35～39	6人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1人	45～49	2人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	1人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	5人	65～69	0人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	3人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	416人	5～9	532人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	572人	15～19	691人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	389人	25～29	54人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	137人	35～39	250人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	335人	45～49	521人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	554人	55～59	425人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	266人	65～69	83人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	32人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- 年代別被保険者数では、男性被保険者は50歳代が30.2%、女性被保険者は20歳代が32.1%を占める。
- 特定健康診査受診率および特定保健指導受診率は、いずれも全健保組合平均よりも高い。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴
事業主との更なる連携強化を図り、加入者の健康保持増進に努めていくことが重要である。

事業の一覧	
職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	愛信健康管理委員の集い
保健指導宣伝	健康管理セミナー
保健指導宣伝	機関誌およびすこやかファミリーの配付
保健指導宣伝	新入職員健康教室
保健指導宣伝	マイヘルスレポートの配付
保健指導宣伝	マイヘルスアップキャンペーン
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査（被保険者）
特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）
保健指導宣伝	健康管理推進委員会
保健指導宣伝	事務担当者打ち合わせ会
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品使用促進通知
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	受診行動適正化指導
疾病予防	定期健診
疾病予防	短期人間ドック
疾病予防	任継・家族健診補助金
疾病予防	婦人科検診補助金
疾病予防	がん検診補助金
疾病予防	歯科健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金
疾病予防	こころとからだの健康相談
疾病予防	健康相談
疾病予防	専任医師面接
疾病予防	糖尿病重症化予防事業（スマート・ライフ・ステイ）
疾病予防	慢性腎臓病重症化予防事業
疾病予防	二次検査受診勧奨
疾病予防	禁煙サポート事業
疾病予防	郵送による大腸がん検診
体育奨励	健康づくりセミナー生活改善特別コース
体育奨励	野球大会
体育奨励	卓球大会
体育奨励	ソフトテニス大会
事業主の取組	
1	健康管理の推進

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り				注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	2,5	愛信健康管理委員の集い	健康管理についての知識を深める。	全て	男女	0～74	被保険者	176	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。代替事業として、オンラインによる健康セミナーを開催。参加者293名（アンケート回答者）	健康管理委員以外の多くの職員が視聴でき、時間、場所に縛られずに実施できた。	-	4	
	2	健康管理セミナー	健康管理についての知識を深める。	全て	男女	0～74	被保険者	167	出席者 26名 講演 健康寿命と栄養 ～食事で健康寿命を延ばせる～ 講師 下方 浩史先生	愛知県信用金庫協会と共催し円滑に実施。	-	4	
	2,5	機関誌およびすこやかファミリーの配付	組合事業の周知および健康情報の発信により、健康意識の向上を図る。	全て	男女	0～74	被保険者	21,986	年6回、奇数月に発行	すこやかファミリーと併せて自宅に送付することで、多くの情報を加入者に発信し健康意識の向上を図る。	加入者が必要とする最新記事や情報を提供する。	5	
	2,5	新入職員健康教室	新入職員を対象に健保の制度や健康管理に関する教育を実施し、知識・意識の向上を図る。	全て	男女	0～74	被保険者	662	受講者 16事業所 428人	事業主の協力を得られ円滑に実施。	-	4	
	2	マイヘルスレポートの配付	自身の健康状態を理解し、医療の必要性や生活習慣の改善等、ヘルスリテラシーの向上を図る。	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者	5,361	対象者を40歳以上偶数歳の被保険者および40歳以上偶数歳の人間ドックを受診の被扶養者に発行。	健診結果をもとに各々の健康状態に合わせた情報提供をし、健康に対する関心と理解を深める。	-	4	
	2	マイヘルスアップキャンペーン	当組合の健康課題のひとつである「運動習慣のない人の割合が高い」という状況を改善するため「気づき」の機会を提供し、行動変容を促すことで健康的な生活習慣の定着を図る。	全て	男女	0～74	被保険者,その他	2,177	運動習慣の定着や生活習慣を改善するきっかけとして、健康づくりプログラムの実施。	組合の課題である「運動習慣のない人の割合が高い」を少しでも解消する。	-	4	
個別の事業													
特定健康診査事業	3,4	特定健康診査（被保険者）	生活習慣病の予防・改善のため、未受診者の把握に努め、受診率向上を図る。	全て	男女	40～74	被保険者	43,083	受診者数 5,828名	事業主が行う法定健診と併せ、協力して実施できた。	-	4	
	3,4	特定健康診査（被扶養者）	利便性の向上等、受診しやすい環境づくりに努め、受診率向上を図る。	全て	男女	40～74	被扶養者	11,868	受診者数 1,598名	事業所経由で案内を送付。	利便性を考慮し受診しやすい環境を整える。	4	
特定保健指導事業	4	特定保健指導（被保険者）	保健指導を通して行動変容を促し、メタボからの脱却を図る。	全て	男女	39～74	被保険者	13,476	初回支援の状況 動機づけ支援236名（64.3%） 積極的支援237名（62%）	対象者が集団教室かオンライン指導を選択可能とし、受講しやすい環境を整えた。	複数回受講や多忙を理由に不参加者が多い。事業所担当者と協力して参加を促す。	4	
	4	特定保健指導（被扶養者）	保健指導を通して行動変容を促し、メタボからの脱却を図る。	全て	男女	40～74	被扶養者	809	初回支援の状況 動機づけ支援42名（60%） 積極的支援15名（50%）	実施率を向上させるために委託先の拡大を図る。対象者の保健指導への関心度には差があるため、無関心層の行動変容変化を図る。	受講率が低調であるため委託先の拡大など工夫が必要。また、各委託先での案内方法に差があるため受講しやすい体制を整える。	3	
保健指導宣伝	1	健康管理推進委員会	組合事業の周知および検討をするとともに事業所との連携を深める。	全て	男女	0～74	被保険者	343	年4回（5月8月11月1月）開催	事業主の協力を得られ円滑に実施。	-	5	
	1	事務担当者打ち合わせ会	事業所担当者を対象に組合事業の周知と情報交換を図る。	全て	男女	0～74	被保険者	109	年1回（6月）開催	事業所担当者を対象に6月に実施。	-	4	

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	7	ジェネリック医薬品使用促進通知	ジェネリック医薬品の使用率を高め医療費適正化を図る。	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	1,088	年2回差額通知発送3,446通	年2回通知を行い、切り替え効果額を明記しジェネリック処方率の上昇を図る。	-	4
	2	医療費通知	医療費に関する認識の向上を図る。	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	1,597	ウェブサイトで医療費通知を掲載し毎月（年12回）閲覧できる	ウェブサイトでの閲覧を開始。事業所の手間を軽減できた。	ウェブサイトへのログイン率が低いため、広報等が必要。	4
	4	受診行動適正化指導	重複・頻回受診者数、重複服薬者への指導を実施し、医療費の適正化を図る。	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	0	（医科）重複・頻回受診者はがん関連・メンタル関連のみであり指導は実施していない （歯科）重複受診者112名に通知指導実施	事業所経由で指導文書を送付。	-	4
疾病予防	3	定期健診	疾病の早期発見、早期治療を図る。	全て	男女	0～74	被保険者	35,794	受診者数4,581名（100%）	事業主と協働し円滑に実施。	-	5
	3	短期人間ドック	詳細な検査を行うことにより疾病の早期発見、早期治療を図る。また、各種オプション検査を推奨し、がん検診受診率向上を図る。	全て	男女	35～74	被保険者,被扶養者	200,602	受診者数 被保険者6,443名（84.8%） 被扶養配偶者1,432名（51.7%）	申込書を作成し事業主経由で配付。個人負担の軽減、契約機関を拡充し年々受診者が増加している。健診終了後希望者には、当日または後日医師による結果説明を実施。	被扶養者受診率の向上。	4
	3	任継・家族健診補助金	疾病の早期発見、早期治療を図る。	全て	男女	35～74	被保険者,被扶養者	3,946	補助金請求件数 任継健診0件 家族健診197件 共同巡回健診225件	事業所経由で案内書を送付。また他健保と共同実施の巡回健診に参加し受診者が増加。	未受診理由の把握や利便性・経済性の向上。	4
	3	婦人科検診補助金	乳がん、子宮がん等婦人科特有の疾病の早期発見、早期治療を図る。	全て	女性	20～74	被保険者	496	補助金請求件数120件	定期健診時に同時受診できる体制を整えた。	受診率向上のため新たな対策が必要。	4
	3,4	がん検診補助金	各種がん等の早期発見・早期治療を図るとともに、特定健診データの収集を行う。	全て	男女	35～74	被扶養者	9	補助金請求件数5件	がん健診の促進を図る。	受診率向上のため新たな対策が必要。	4
	3,4	歯科健診	齲蝕の予防、早期発見および口腔ケアの促進を図る。	全て	男女	0～74	被保険者	11,853	受診者数4,490名	事業主と協働し円滑に実施。受診後に要治療者には受診勧奨を実施。	受診率低調。ドック受診者が歯科検診のみのために会場に足を運ばない。	3
	3	インフルエンザ予防接種補助金	罹患時の重症化を防ぐことを目的とする。	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	16,508	接種者数 被保険者6,738名（60%） 被扶養者1,529名（36.6%）	被保険者、被扶養者1名に対し2,000円を上限とした実費を補助。	-	4
	5,6	こころとからだの健康相談	利用者の悩みの解決や心身の安定を図る。	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	2,884	電話健康相談257件 メンタルヘルスカウンセリング 電話97件 面接6件	機関誌に毎回掲載し周知を図る。	-	4
	4,6	健康相談	健康の保持、増進、生活習慣の改善を促し、適切な医療へ導く。	全て	男女	0～74	被保険者	2,197	健康相談実施数907名	保健師がオンラインまたは各事業所を巡回し個別支援を実施。	-	4
	4,6	専任医師面接	健康の保持、増進、生活習慣の改善を促し、適切な医療へ導く。	全て	男女	0～74	被保険者	7,200	面接実施者数182名	事業主の協力を得られ円滑に実施。未実施者には担当者を経由して勧奨を実施。オンラインを導入したことにより遠方の対象者の参加が増加。	-	4
	4	糖尿病重症化予防事業（スマート・ライフ・ステイ）	生活習慣の改善を図り、糖尿病、合併症等の重症化を防止する。	全て	男女	0～74	被保険者	126	受講者数 7名	事業主からの参加の呼びかけや負担金の補助など積極的な周知を実施。	-	3
	4	慢性腎臓病重症化予防事業	将来、人工透析を必要とする末期腎不全や高度医療を必要とする脳卒中や心筋梗塞を発症する可能性がある方に対して重症化を防止する。	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	209	通知件数 被保険者157名 被扶養者28名	慢性腎臓病の疑いのある対象者に受診勧奨を行い、重症化を予防する。	-	4

予 算 科 目	注1) 事業 分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	4	二次検査受診 勧奨	受診を促し、疾病の早期発見・早期治療を図る。	全て	男女	0 ～ 74	被保険 者	208	勸奨件数 1,125名 令和5年4月末現在の人数 (令和4年4月～9月健診受診者)	事業所経由で通知書を送付。受診をし た場合は本人より二次検査結果報告を 提出。	未受診者への対策。	4
	5	禁煙サポート 事業	被保険者の健康増進及び疾病予防、受動喫煙を防止する。	全て	男女	20 ～ 74	被保険 者	0	禁煙外来補助金請求件数 0件	禁煙成功率の高い「禁煙外来」の受診 費用の一部補助を実施し禁煙をサポートする。	補助金請求件数が少ないため、加入者 への周知を強化。	3
	3	郵送による大 腸がん検診	大腸がんの早期発見をめざす。	全て	男女	35 ～ 74	被保険 者	131	対象者 136名 受診者 30名	当該年度の健診時に「便潜血検査」を 未実施の35歳以上被保険者に実施。	-	4
体 育 奨 励	5	健康づくりセ ミナー生活改 善特別コース	生活習慣の改善を図り、将来的に特定保健指導対象者への流入を防止 する。	全て	男女	25 ～ 35	被保険 者	384	受講者数 55名	事業所経由で案内書を送付。事業主の 協力により円滑に実施。	特定保健指導対象者への流入を防ぐた め、受講後の継続支援等の検討を行う 。	4
	8	野球大会	被保険者の健康保持・増進を図る。	全て	男女	0 ～ (上 限 なし)	被保険 者	1,262	15チームが参加	愛知県信用金庫協会と共催し円滑に実 施。	-	5
	8	卓球大会	被保険者の健康保持・増進を図る。	全て	男女	0 ～ (上 限 なし)	被保険 者	587	団体 10チーム 個人 108名 ミックスダブル 18チーム	愛知県信用金庫協会と共催し円滑に実 施。	-	5
	8	ソフトテニス 大会	被保険者の健康保持・増進を図る。	全て	男女	0 ～ (上 限 なし)	被保険 者	0	新型コロナウイルス感染症の影響によ り中止。	-	-	5

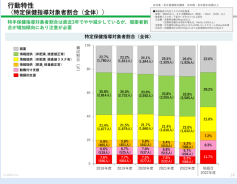
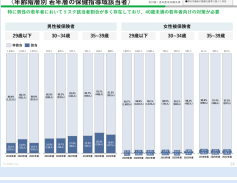
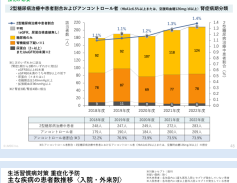
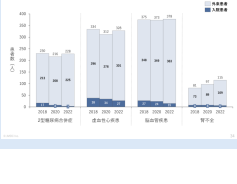
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

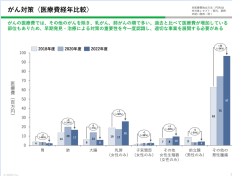
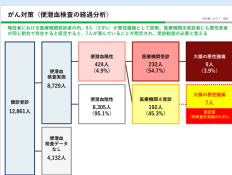
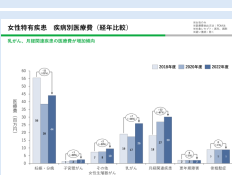
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

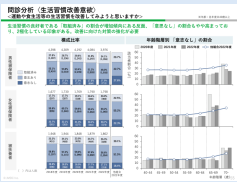
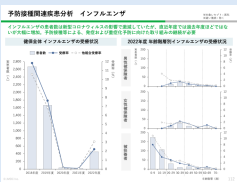
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
健康管理の推進	健保組合からの情報および受診勧奨、各種保健事業への参加を促す。	被保険者 被扶養者	男女	- ～ (上 限 なし)	健保組合からの通知等に基づき、対象者に受診 や保健指導等への参加を促した。	事業主との協働により円滑に実施した。	-	有

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		行動特性（年度別健診受診率）	医療費・患者数分析	-
イ		特定保健指導対象者割合（全体）	特定保健指導分析	-
ウ		年齢階層別若年層の保健指導域該当者	健康リスク分析	-
エ		生活習慣病リスク分布（被保険者）	健康リスク分析	-
オ		糖尿病患者腎症病期分類割合	健康リスク分析	-
カ		主な疾病の患者数推移（入院・外来別）	健康リスク分析	-

キ	 がん対策（医療費経年比較） がんの医療費は、その中でも最も増加が著しく、がんの患者数増加に伴って医療費も増加している。がんの医療費は、がんの患者数増加に伴って増加している。がんの医療費は、がんの患者数増加に伴って増加している。	がん対策〈医療費経年比較〉	健康リスク分析	-
ク	 がん対策（便潜血検査の経過分析） 便潜血検査の結果、陽性反応を示した人は、がんのリスクが高くなる。便潜血検査の結果、陽性反応を示した人は、がんのリスクが高くなる。便潜血検査の結果、陽性反応を示した人は、がんのリスクが高くなる。	がん対策〈便潜血検査の経過分析〉	健康リスク分析	-
ケ	 メンタル疾患対策（気分障害（うつ病など）） 気分障害（うつ病など）は、メンタル疾患の代表的な疾患である。気分障害（うつ病など）は、メンタル疾患の代表的な疾患である。気分障害（うつ病など）は、メンタル疾患の代表的な疾患である。	メンタル疾患対策〈気分障害（うつ病など）〉	健康リスク分析	-
コ	 女性特有疾患（医療費経年比較） 女性特有疾患の医療費は、経年比較で増加傾向にある。女性特有疾患の医療費は、経年比較で増加傾向にある。女性特有疾患の医療費は、経年比較で増加傾向にある。	女性特有疾患医療費（経年比較）	健康リスク分析	-
サ	 女性特有疾患対策（子宮頸がん） 子宮頸がんは、女性特有疾患の代表的な疾患である。子宮頸がんは、女性特有疾患の代表的な疾患である。子宮頸がんは、女性特有疾患の代表的な疾患である。	女性特有疾患対策〈子宮頸がん〉	健康リスク分析	-
シ	 行動特性（年度別後発医薬品数量割合推移） 後発医薬品の数量割合は、年度別で推移している。後発医薬品の数量割合は、年度別で推移している。後発医薬品の数量割合は、年度別で推移している。	行動特性〈年度別後発医薬品数量割合推移〉	後発医薬品分析	-
ス	 問診分析（喫煙）<現在、たばこを習慣的に吸っていますか> 喫煙は、健康リスクの要因の一つである。喫煙は、健康リスクの要因の一つである。喫煙は、健康リスクの要因の一つである。	問診分析〈喫煙〉<現在、たばこを習慣的に吸っていますか>	健康リスク分析	-

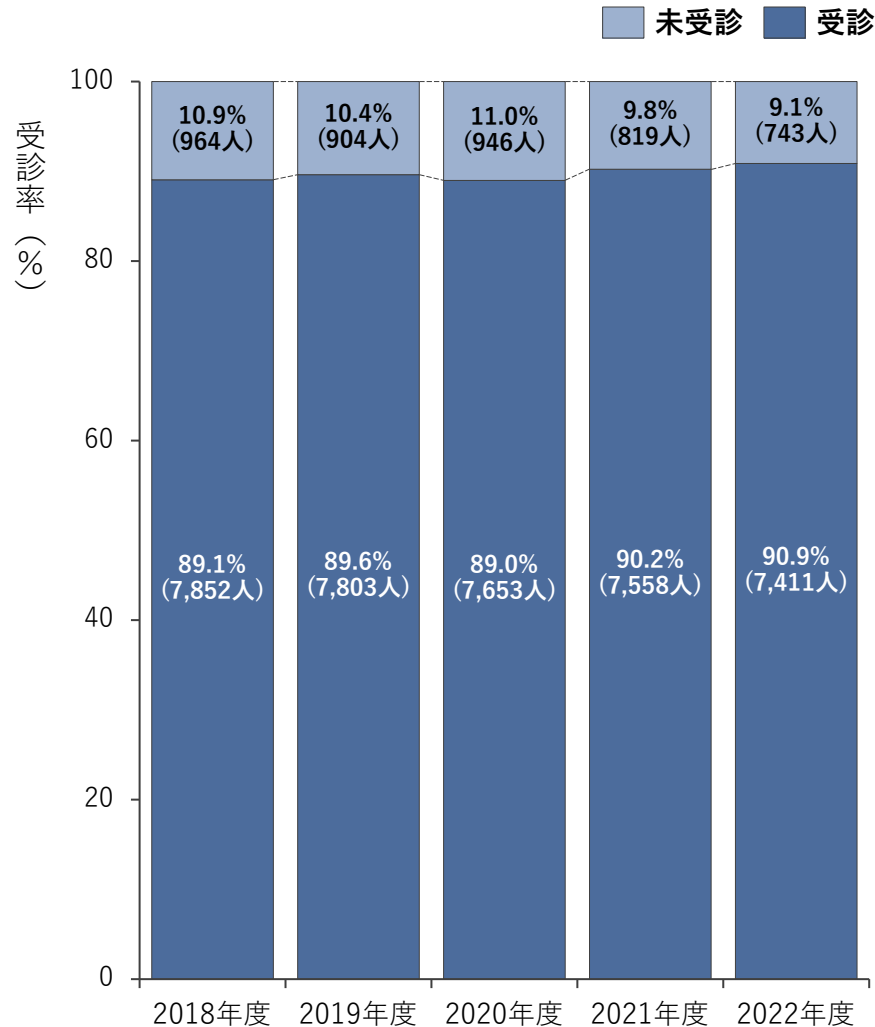
セ		問診分析〈生活習慣改善意欲〉	健康リスク分析	-
ソ		健診・問診分析サマリ〈被保険者全体〉	特定健診分析	-
タ		歯科対策重症化予防	健康リスク分析	-
チ		予防接種関連疾患分析インフルエンザ	健康リスク分析	-

行動特性 〈年度別 健診受診率〉

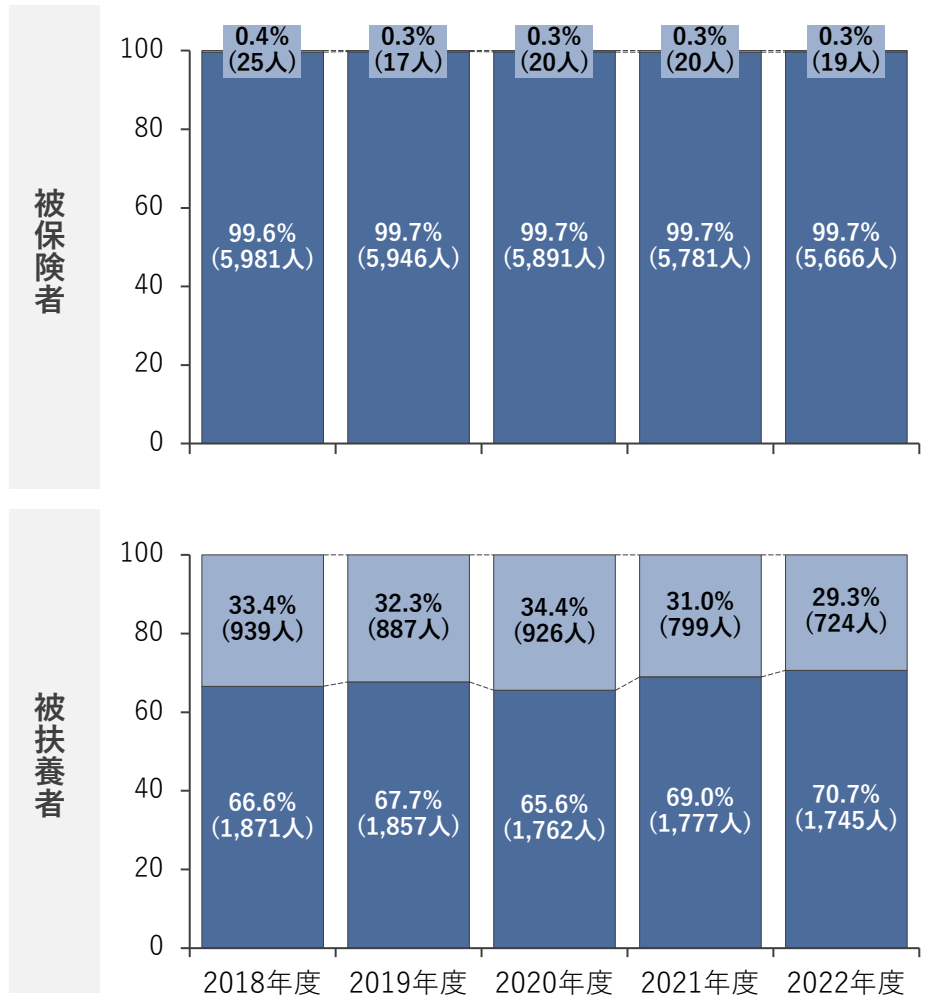
※対象：各年度継続在籍者
※年齢：各年度末40歳以上

健診受診率は過去5年で徐々に上昇。伸びしろは被扶養者であり、受診率上昇に向けた対策の強化が必要

年度別 健診受診率（全体）



年度別 健診受診率（被保険者・被扶養者別）



行動特性

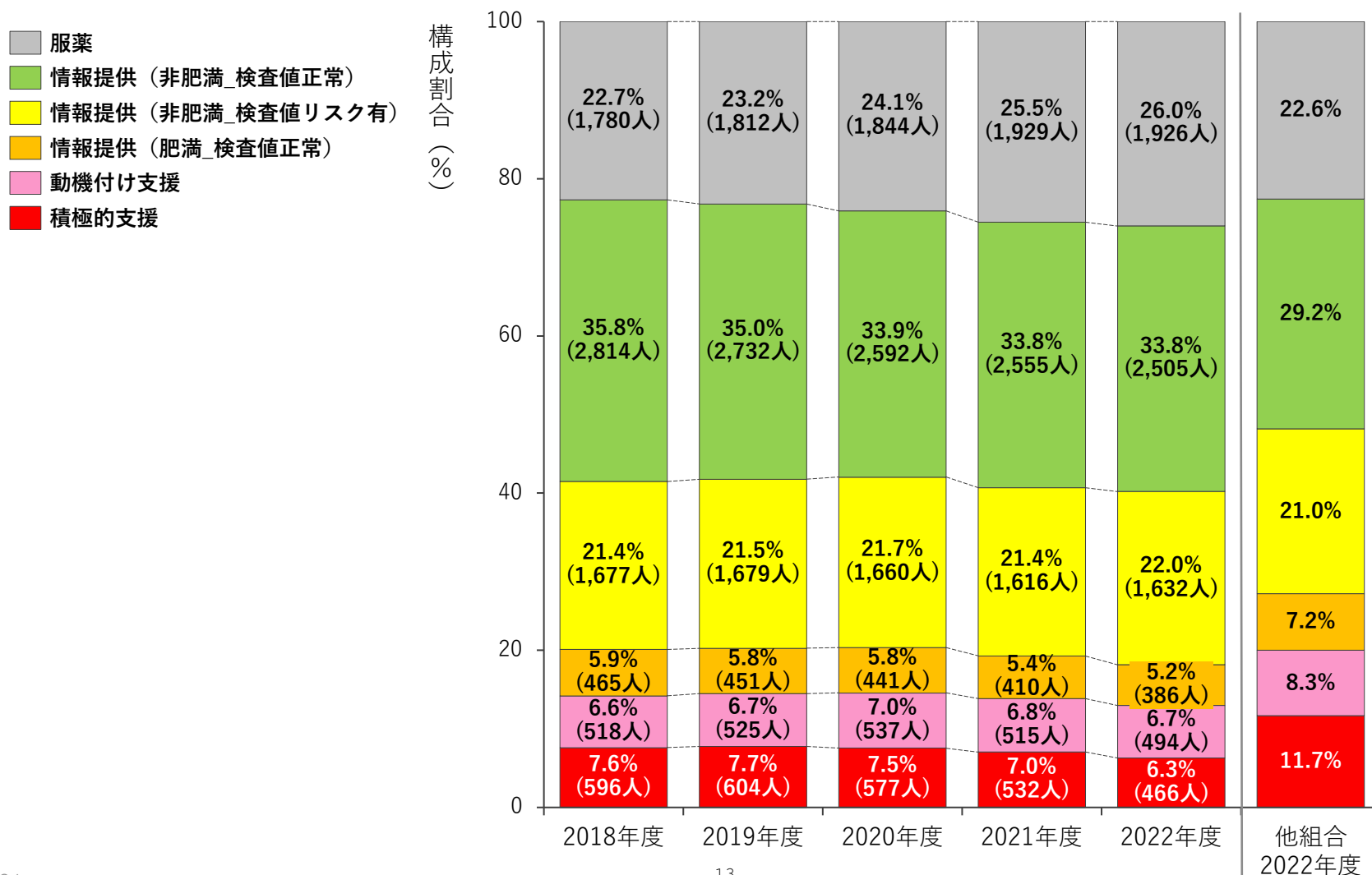
〈特定保健指導対象者割合（全体）〉

特手保健指導対象者割合は直近3年でやや減少しているが、服薬者割合が増加傾向にあり注意が必要

※対象：各年度継続在籍者 ※年齢：各年度末40歳以上

- 情報提供の内在リスクの判定基準
- ・肥満：BMI25以上、または腹囲85cm（男性）・90cm（女性）以上
 - ・検査値リスク有：下記のいずれか1つ以上該当
 - ①血糖：空腹時血糖100mg/dl以上
(空腹時血糖を未測定の場合は、HbA1c 5.6%以上)
 - ②脂質：中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
 - ③血圧：収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上

特定保健指導対象者割合（全体）



生活習慣病対策 特定保健指導 〈年齢階層別 若年層の保健指導域該当者〉

※対象：各年度末40歳未満

■厚生労働省の階層化基準に基づく判定

特に男性の若年者においてリスク該当者割合が多く存在しており、40歳未満の若年者向けの対策が必要

男性被保険者

29歳以下

30～34歳

35～39歳

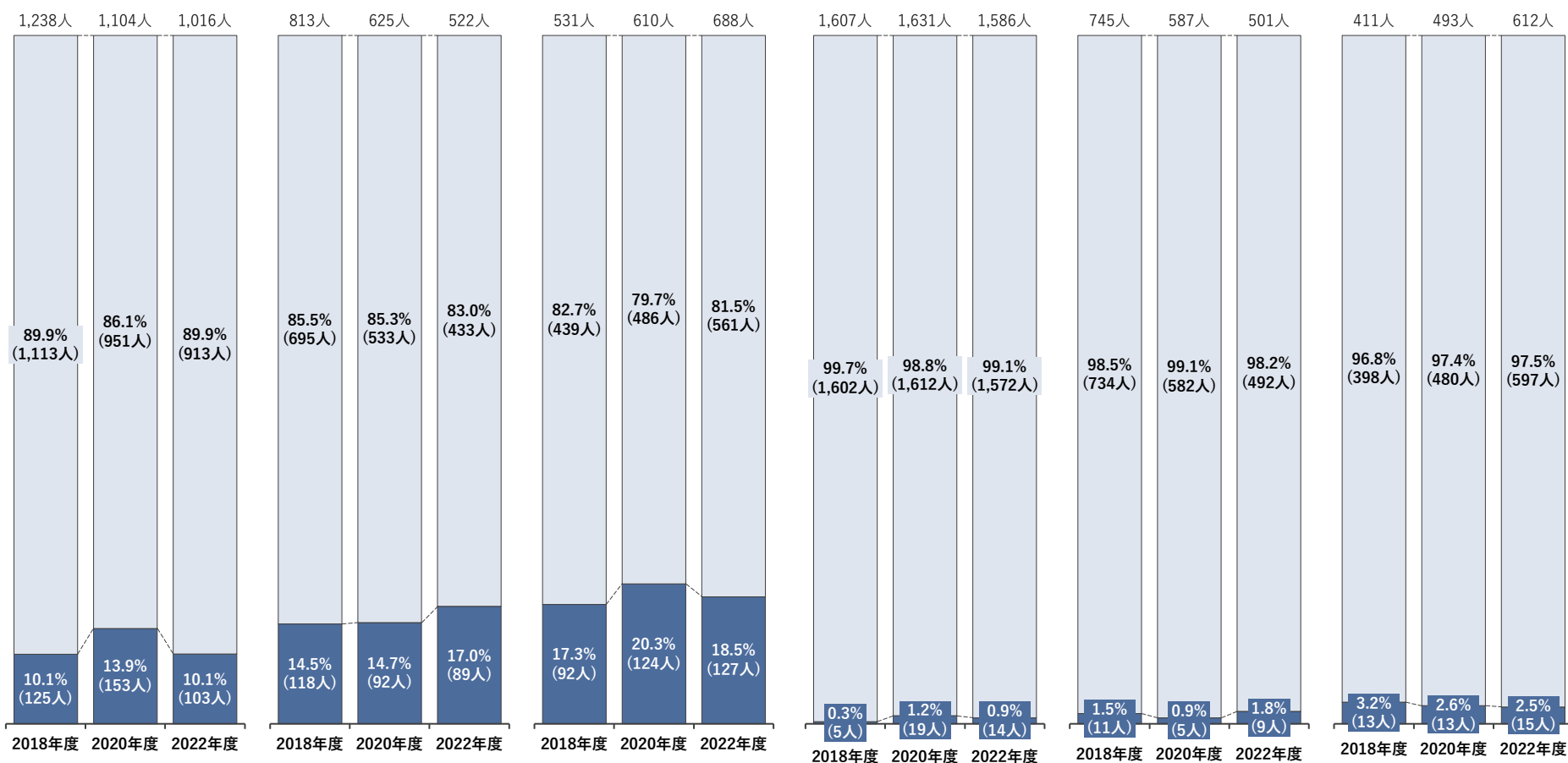
女性被保険者

29歳以下

30～34歳

35～39歳

□ 非該当 ■ 該当



生活習慣病対策 重症化予防

生活習慣病 リスク分布 〈被保険者〉

※対象：各年度継続在籍被保険者
 ※年齢：各年度末40歳以上
 ※医療費：該当者あたり医療費（円）＊歯科除く

過去と比べ正常群の割合が減少し、生活習慣病重症化群として治療中の割合は過去と比べ増加傾向。重症化予防として早期治療に繋げるための対策の強化が必要



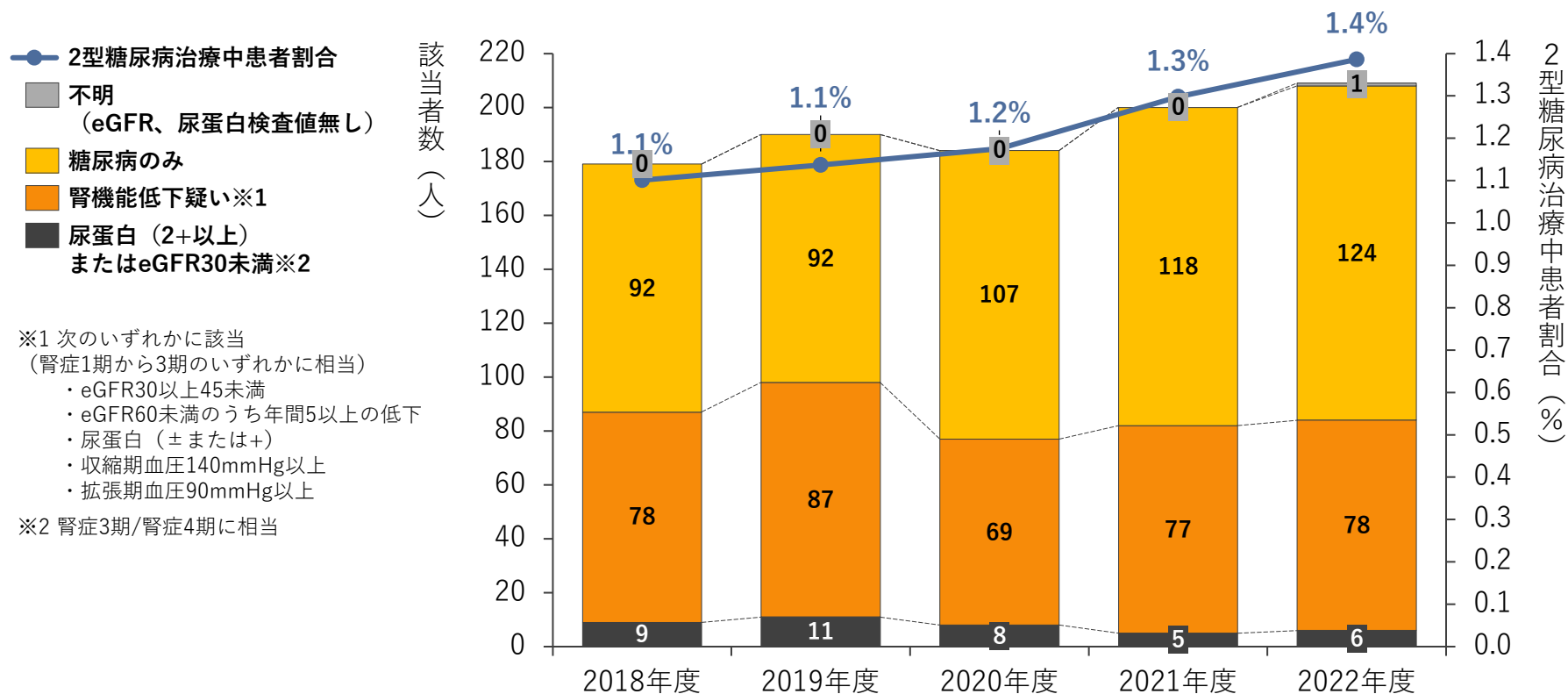
該当者数	2022年度	15	684	1,305	1,347	204	1,551	560	19
	2020年度	9	735	1,356	1,437	253	1,562	536	23
	2018年度	19	839	1,386	1,459	255	1,509	517	22
割合	2022年度	-	12.1%	23.0%	23.8%	3.6%	27.4%	9.9%	0.3%
	2020年度	-	12.5%	23.0%	24.3%	4.3%	26.5%	9.1%	0.4%
	2018年度	-	14.0%	23.2%	24.4%	4.3%	25.2%	8.6%	0.4%
	他組合 2022年度	-	12.9%	21.9%	23.8%	6.1%	25.6%	9.3%	0.5%
医療費	2022年度	-	113,325	95,066	100,705	73,297	197,259	448,833	1,655,797

生活習慣病対策 重症化予防 〈糖尿病患者 腎症病期分類割合〉

※レセプト：医科入院外、調剤（12月～翌年3月）
※健診：各年度受診分（eGFR低下速度は前年度受診分も参照）
※除外対象：12月～翌年3月に人工透析が発生している者

腎症病期に該当する人数は年々増加傾向。人工透析導入の防止に向け、病期進行の食い止めに向けた対策の強化が必要

2型糖尿病治療中患者割合およびアンコントロール者（HbA1c6.5%以上または、空腹時血糖126mg/dl以上）腎症病期分類



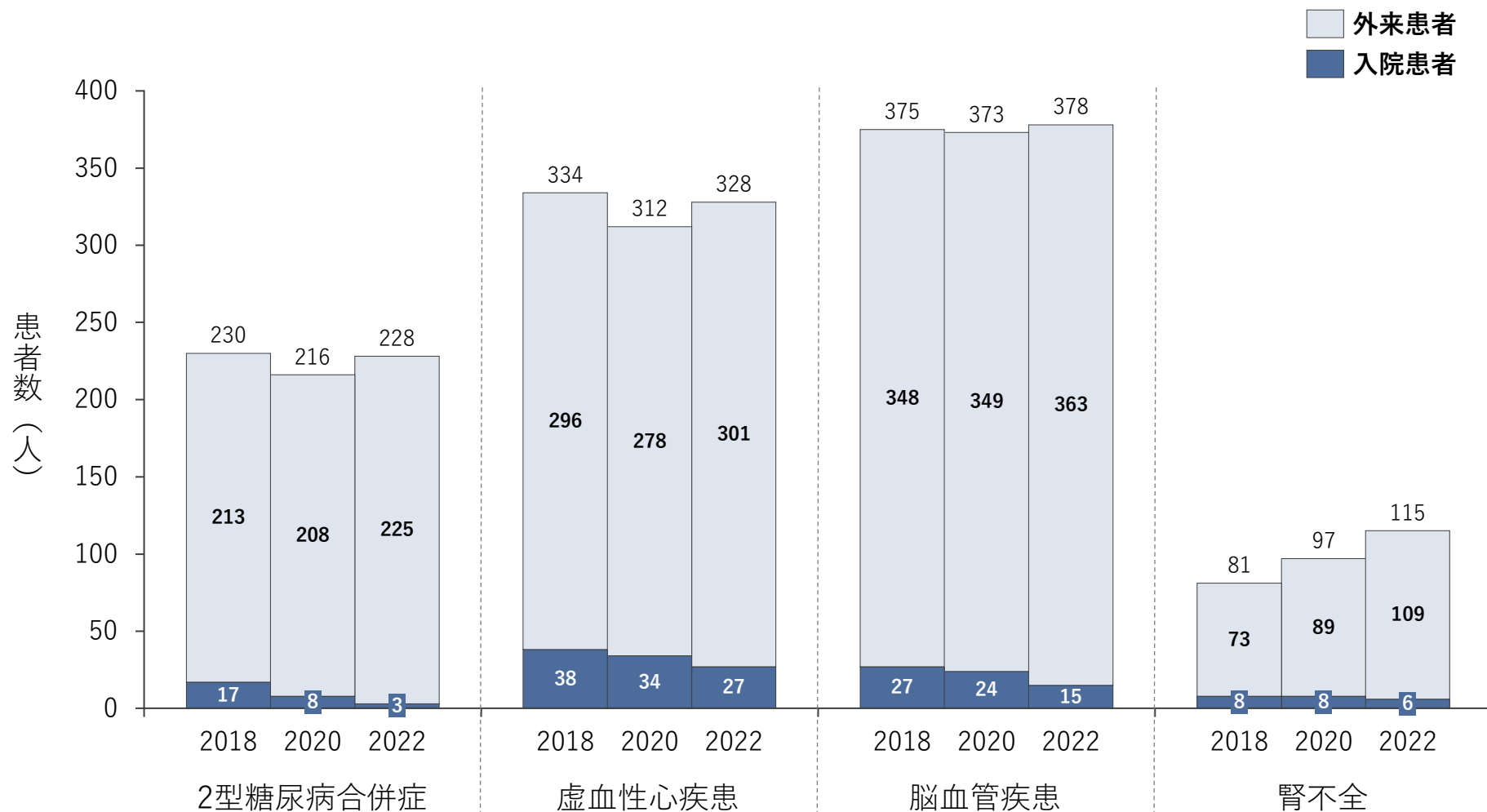
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
2型糖尿病治療中患者	248人	247人	249人	272人	283人
アンコントロール者	179人	190人	184人	200人	209人
アンコントロール者割合 ※3	72.2%	76.9%	73.9%	73.5%	73.9%

※3 アンコントロール者割合：2型糖尿病治療中患者におけるアンコントロール者（HbA1c6.5%以上または、空腹時血糖126mg/dl以上）の割合

生活習慣病対策 重症化予防 主な疾病の患者数推移〈入院・外来別〉

※対象レセプト：医科
※疑い傷病：除く
※外来患者：各年度内に1度も医科入院レセプトが発生していない患者
※入院患者：各年度内に1度以上医科入院レセプトが発生している患者

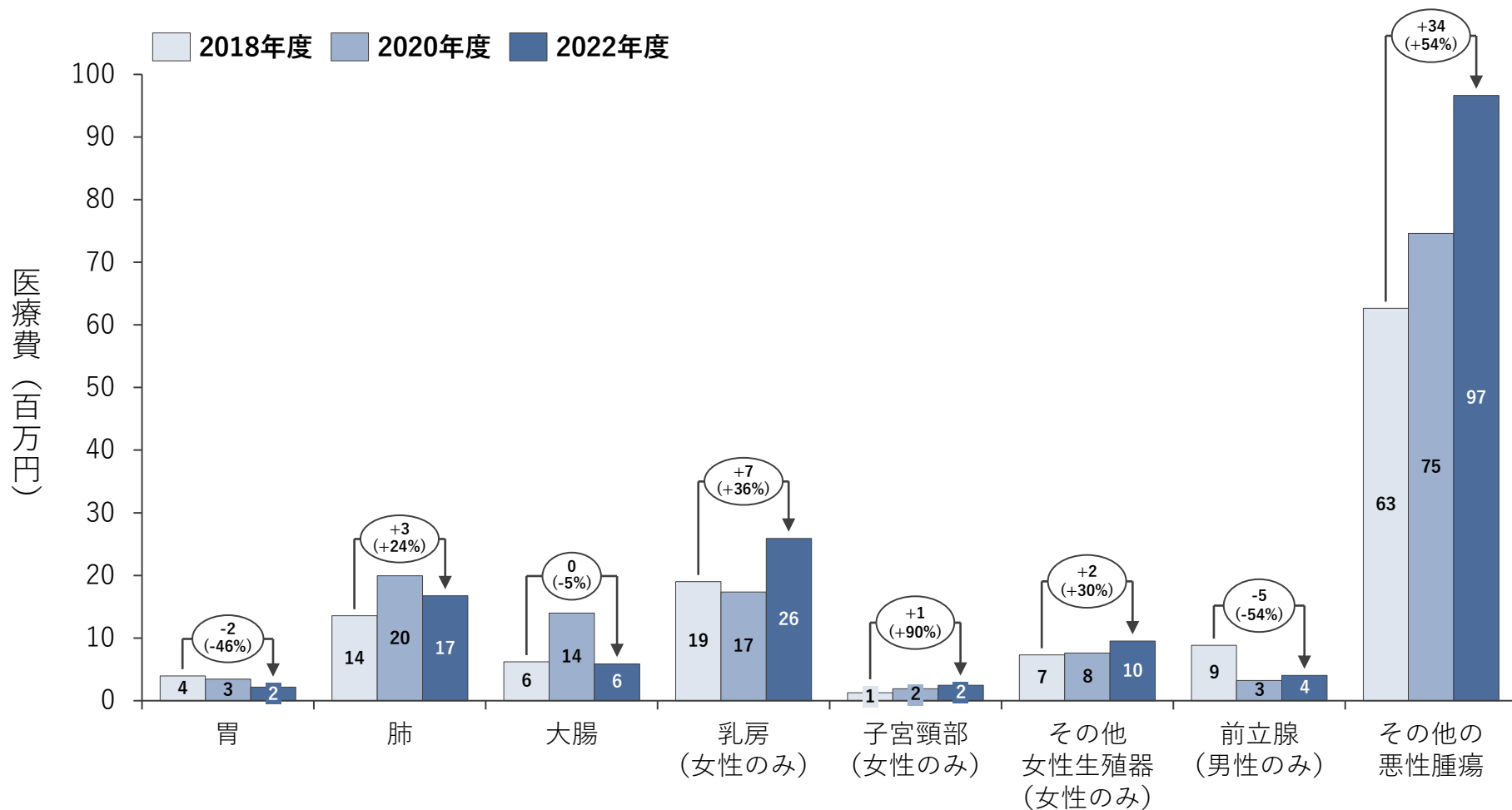
生活習慣病重症化疾患での入院患者は減少傾向にあるが、毎年一定数は存在している。人工透析導入により一人当たり医療費が最も高額となる腎不全の患者が明確に増加しており、重症化となる前の段階で留めることが強く求められる



がん対策 〈医療費経年比較〉

※医療費抽出方法：PDM法
 ※対象レセプト：医科、調剤
 ※疑い傷病：除く

がんの医療費では、その他のがんを除き、乳がん、肺がんの順が多い。過去と比べて医療費が増加している部位もありため、早期発見・治療による対策の重要性を今一度認識し、適切な事業を展開する必要がある

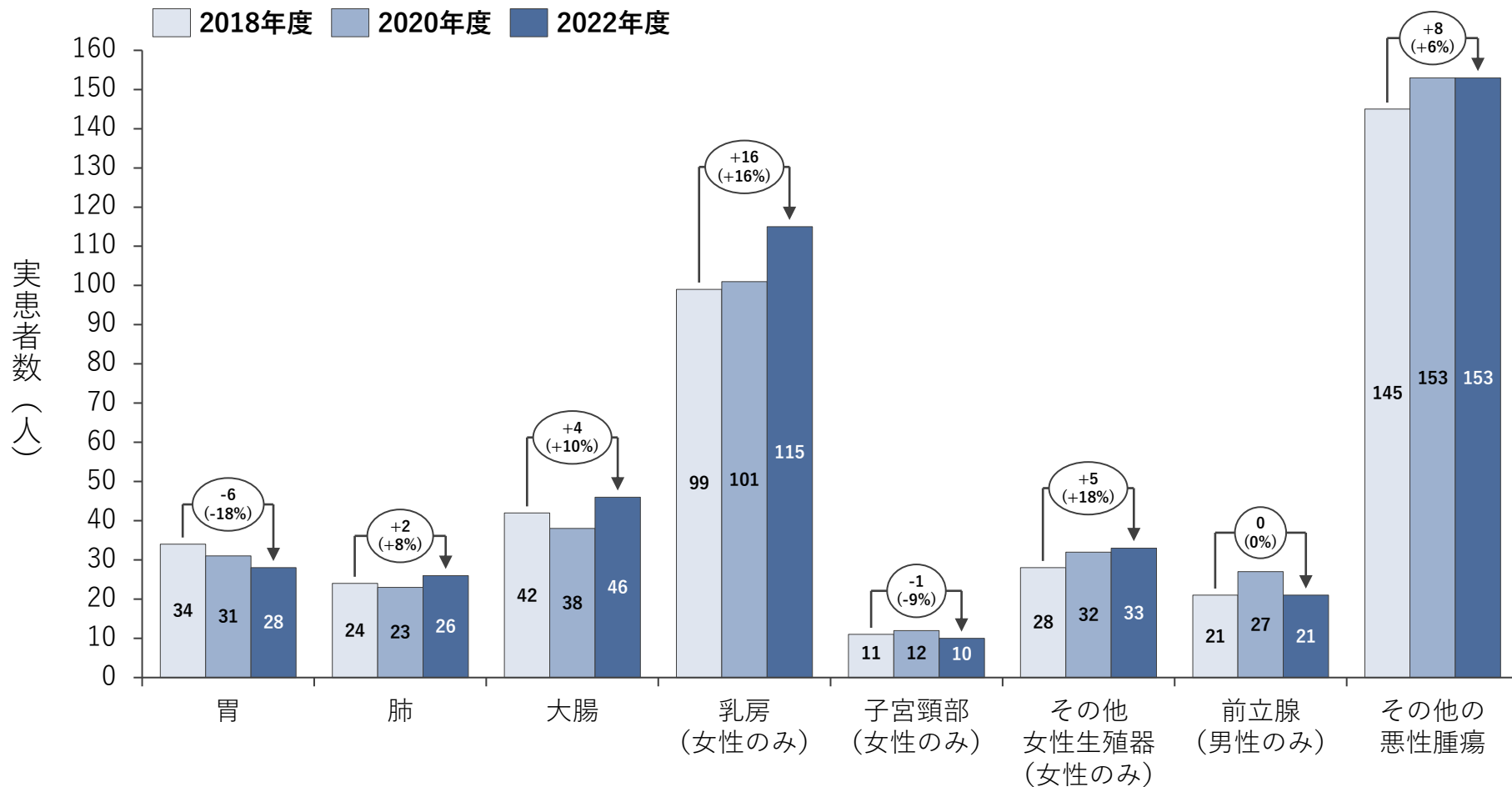


がん対策 〈患者数経年比較〉

※対象レセプト：医科

※疑い傷病：除く

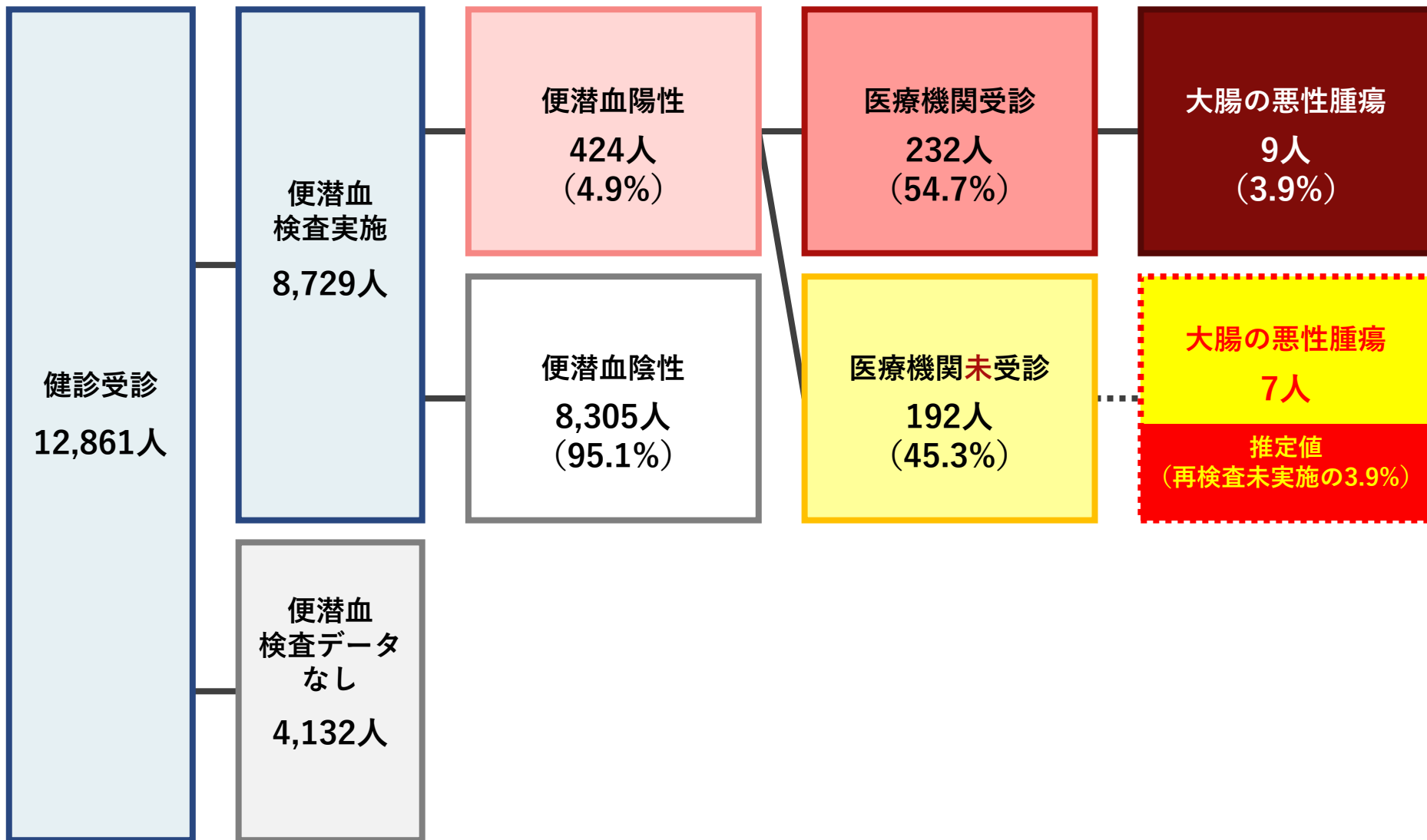
がんの患者数では部位ごとに多くの患者が存在する。過去からの大きな増加は見られないが、早期発見・治療による対策の重要性を今一度認識し、適切な事業を展開する必要がある



がん対策 〈便潜血検査の経過分析〉

※対象レセプト：内科

陽性者における医療機関受診者の内、9人（3.9%）が悪性腫瘍として診断。医療機関未受診者にも悪性患者が同じ割合で存在すると仮定すると、7人が潜んでいることが想定され、受診勧奨が必要と言える

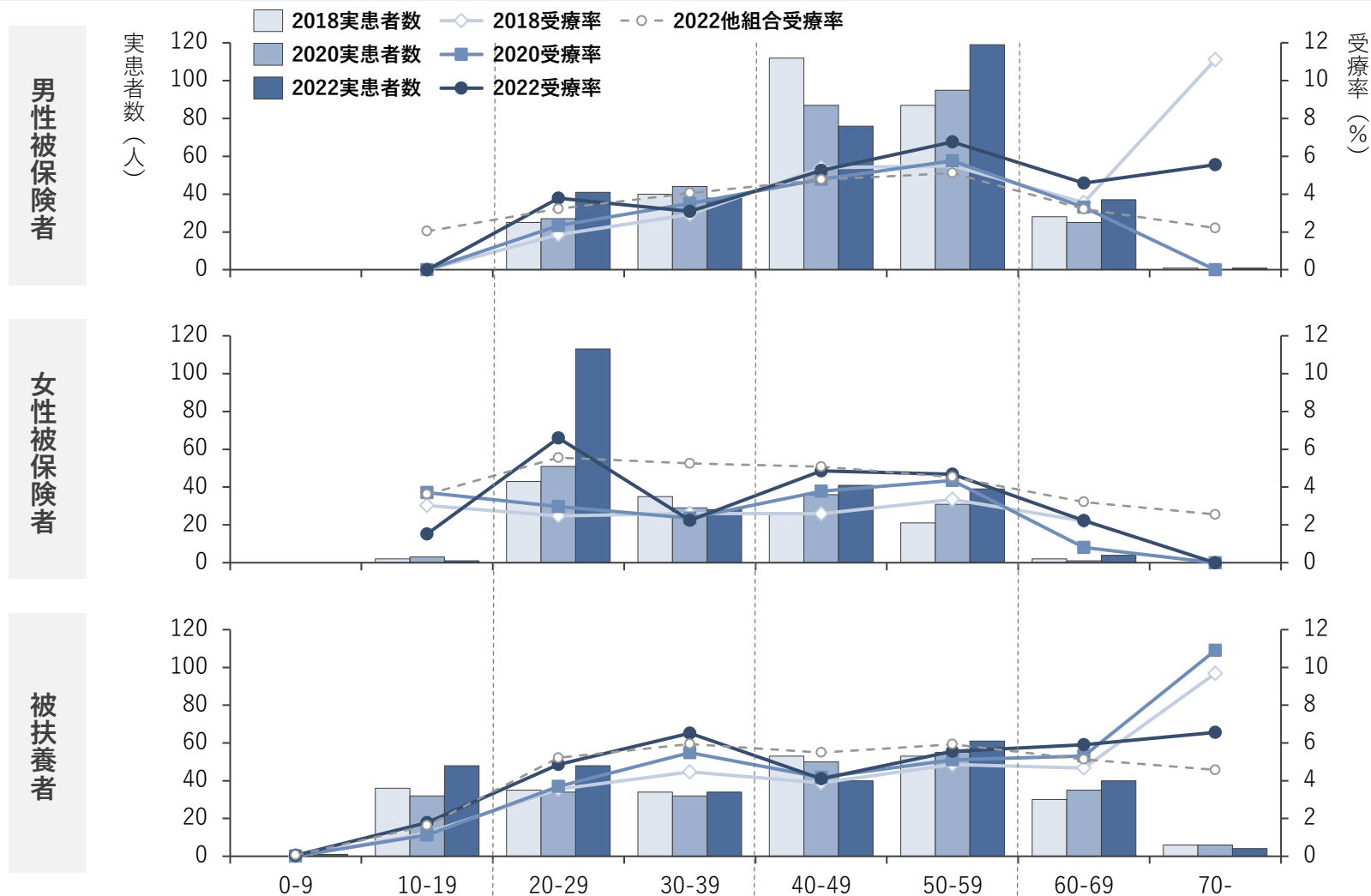


メンタル疾患対策 〈気分障害（うつ病など）〉

※対象レセプト：医科
※疑い傷病：除く

他組合と比べ、40代以上の被保険者のメンタル受療率が高い。50代は受療率・患者数共に増加傾向にあり、悪化を防ぐためのフォローが必要と言える

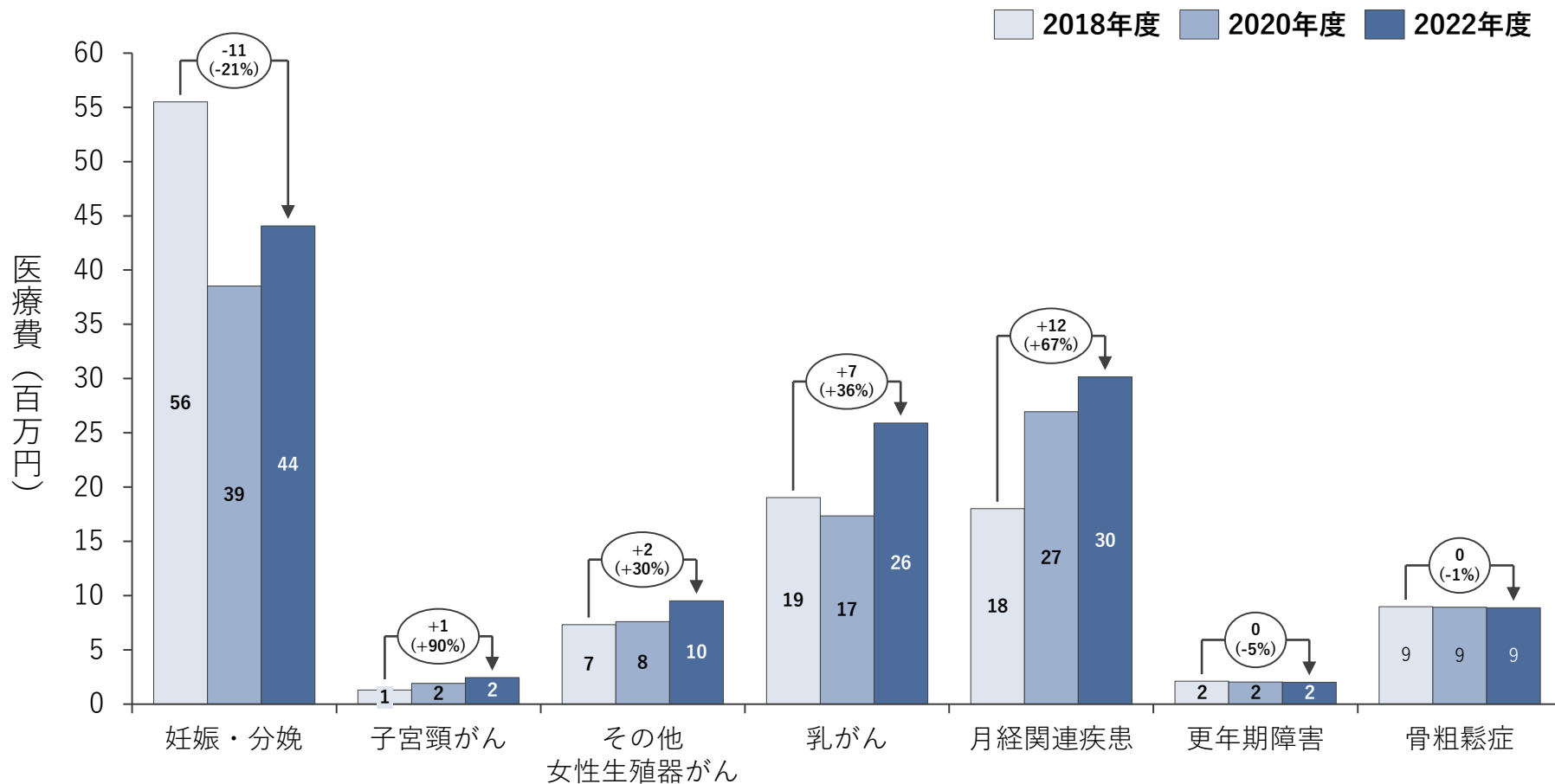
年齢階層別 実患者数と受療率（経年比較）



女性特有疾患 疾病別医療費（経年比較）

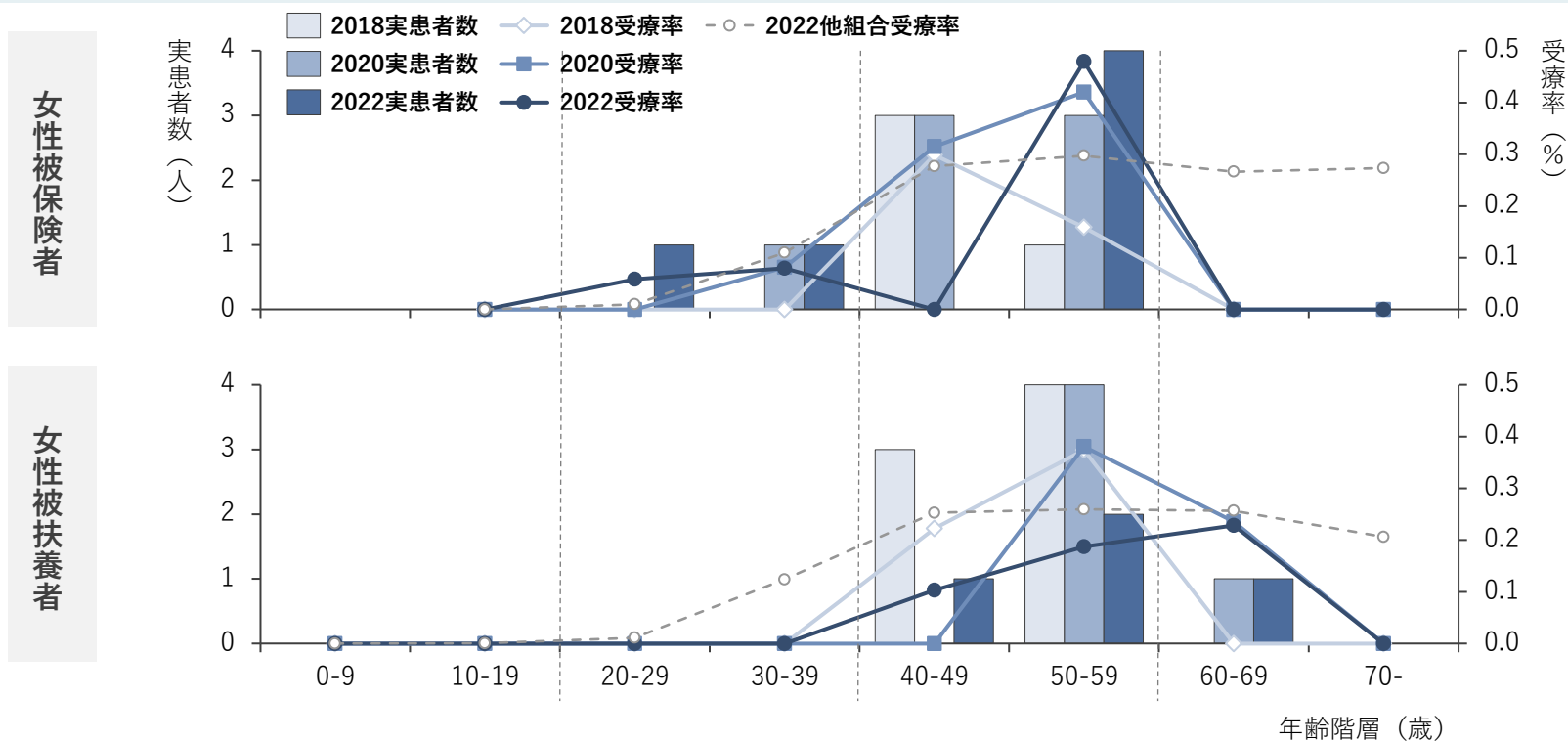
※女性のみ
 ※医療費抽出方法：PDM法
 ※対象レセプト：医科、調剤
 ※疑い傷病：除く

乳がん、月経関連疾患の医療費が増加傾向



被保険者、被扶養者ともに各年代で患者が存在する。若年層においても患者が存在し、HPVワクチンの接種補助など対策の検討が必要

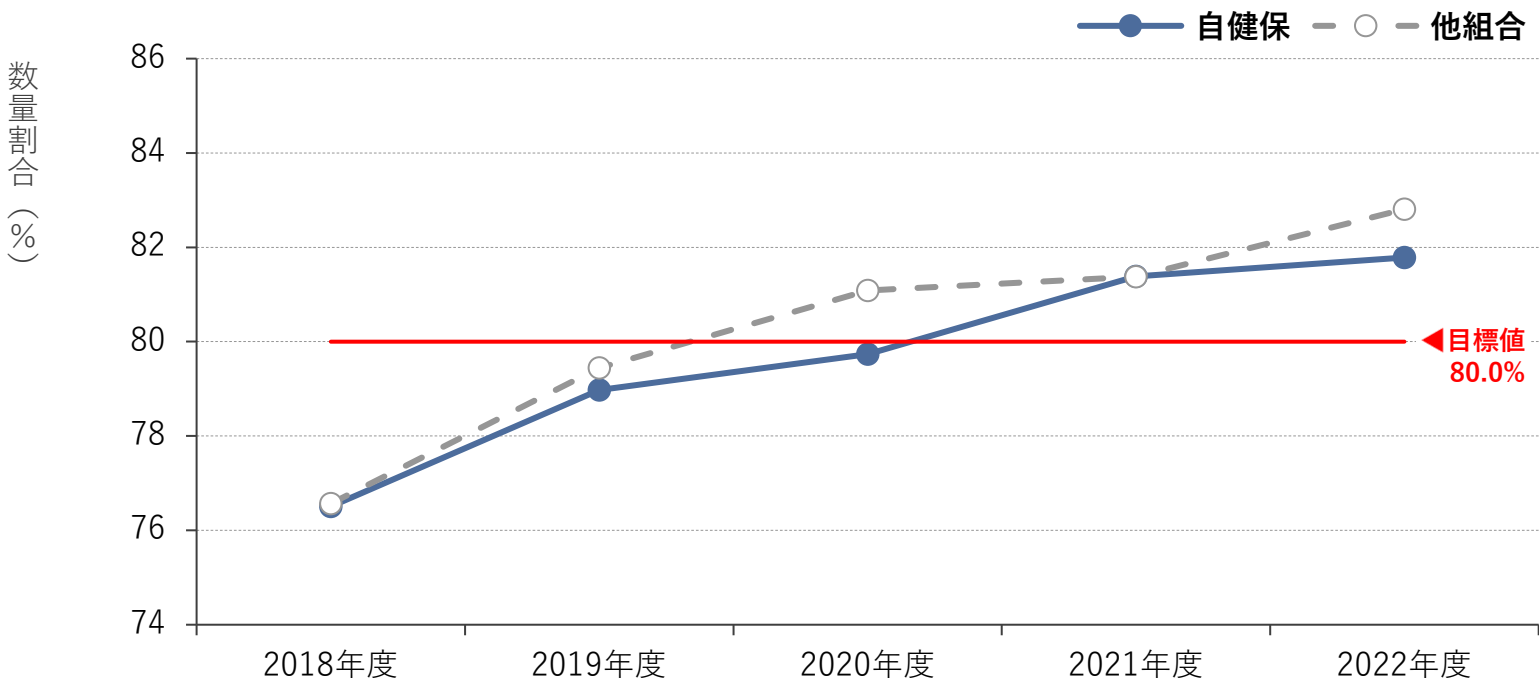
年齢階層別 実患者数と受療率（経年比較）



行動特性 〈年度別 後発医薬品数量割合推移〉

※対象レセプト：全て
※各年度末月（3月度）の数量割合

ジェネリック数量比率は目標の80%は超えているが、他組合と比べ低い状態である



レセプト種別 後発医薬品数量割合

レセプト種別	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
医科入院	83.3%	83.8%	86.9%	84.3%	83.9%
医科入院外	62.3%	64.5%	65.1%	65.7%	65.5%
調剤	81.3%	83.7%	84.0%	85.5%	86.0%
歯科	54.0%	53.2%	57.0%	54.0%	49.9%
全レセプト	76.5%	79.0%	79.7%	81.4%	81.8%

問診分析 〈喫煙〉 <現在、たばこを習慣的に吸っていますか>

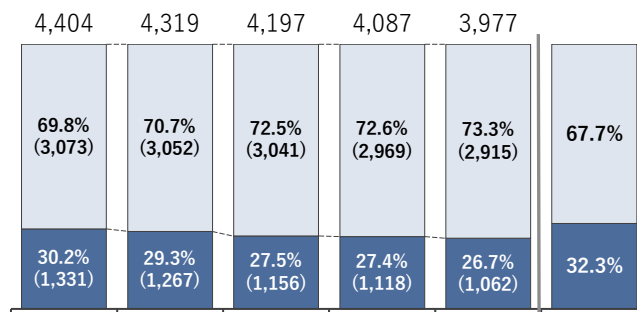
※年齢：各年度末40歳以上

喫煙率は緩やかな減少傾向にあるが、直近は下げ止まっている印象があり、改善に向けた対策の強化が必要

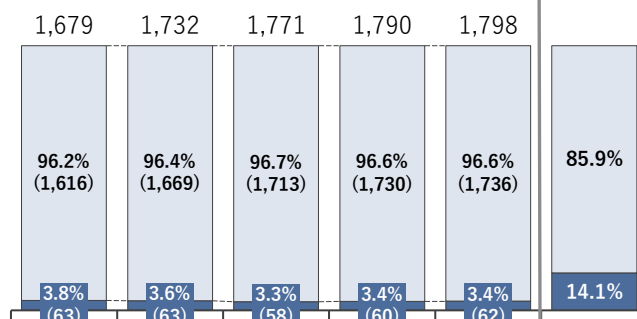
構成比率

男性被保険者

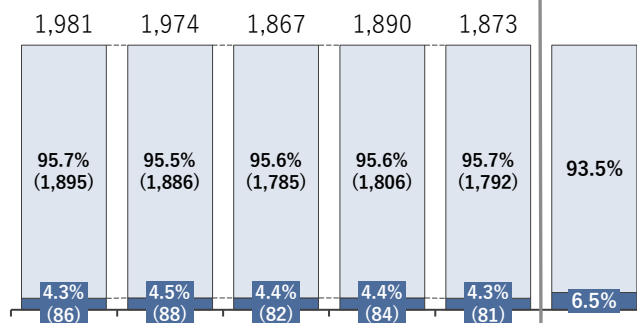
いいえ
はい



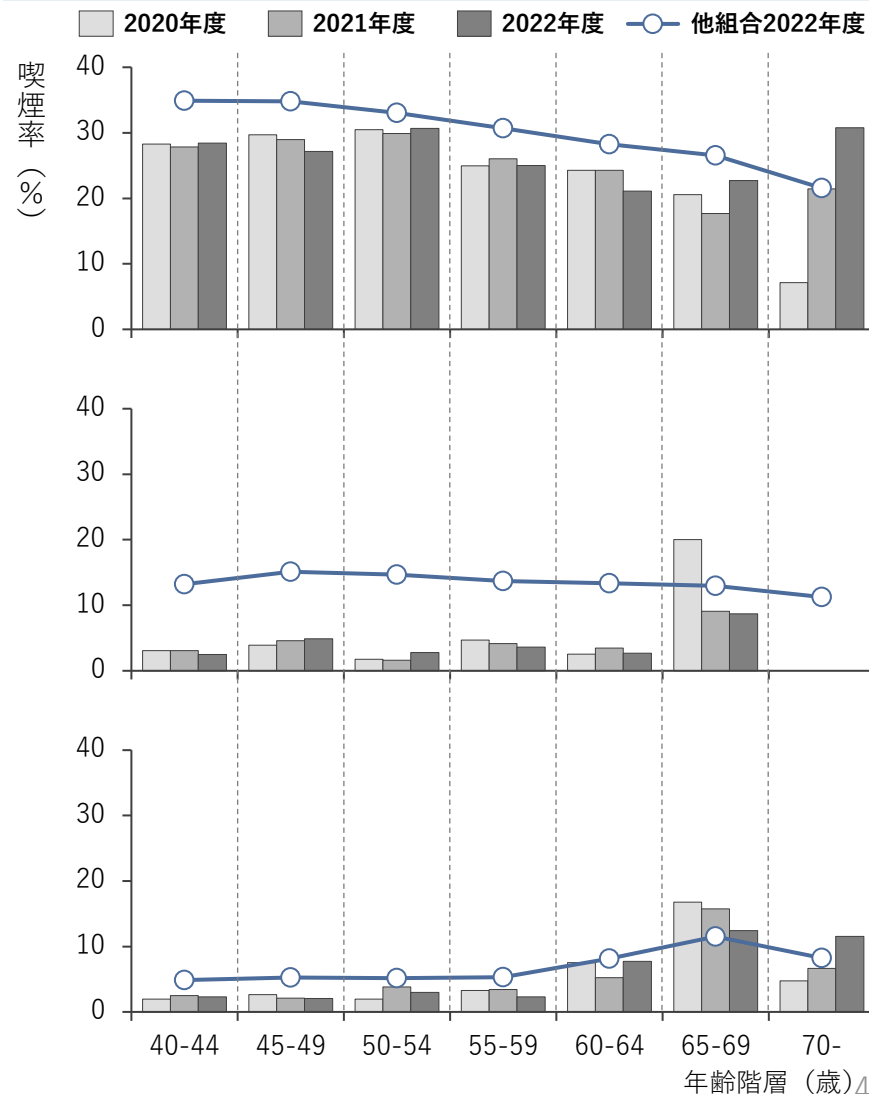
女性被保険者



被扶養者



年齢階層別 喫煙率



() 内は人数

他組合
2022年度

問診分析 〈生活習慣改善意欲〉

〈運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか〉

※年齢：各年度末40歳以上

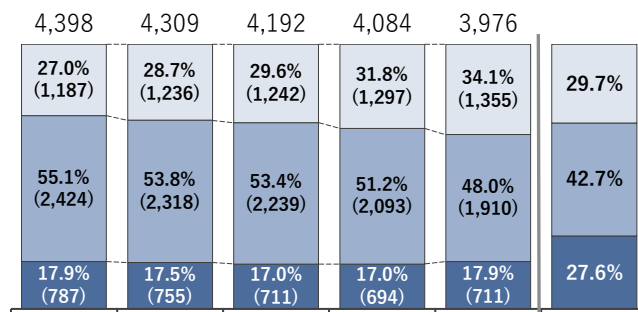
生活習慣の良好者である「取組済み」の割合が増加傾向にある反面、「意思なし」の割合もやや高まっており、2極化している印象がある。改善に向けた対策の強化が必要

構成比率

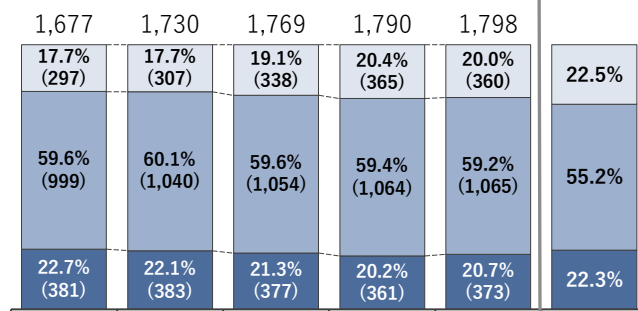
年齢階層別「意思なし」の割合

男性被保険者

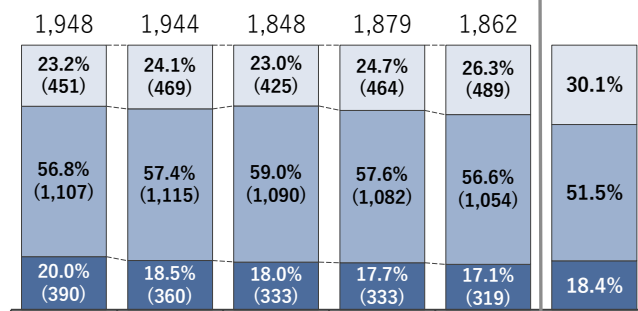
取組済み
意志あり
意志なし



女性被保険者

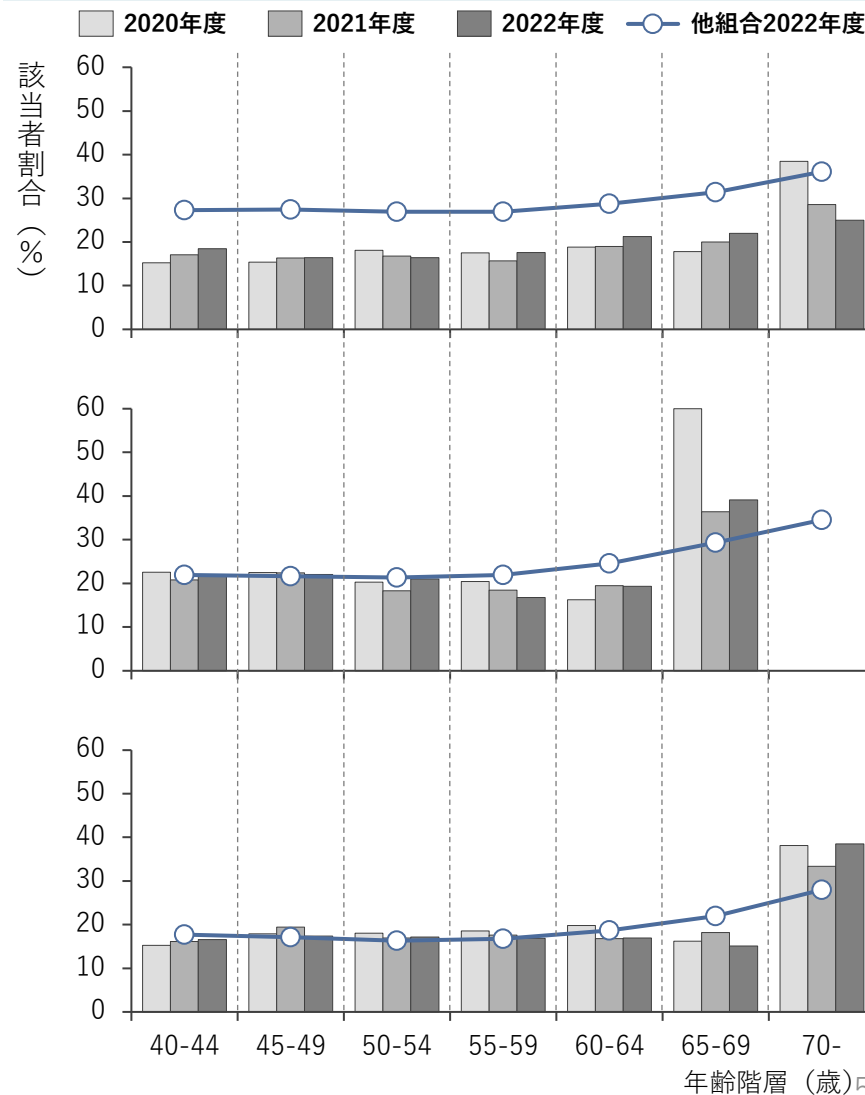


被扶養者



() 内は人数

2018年度 2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 他組合2022年度



健診・問診分析サマリ 〈被保険者全体〉

※年度：2022年度
※対象：被保険者
※年齢：2022年度末40歳以上

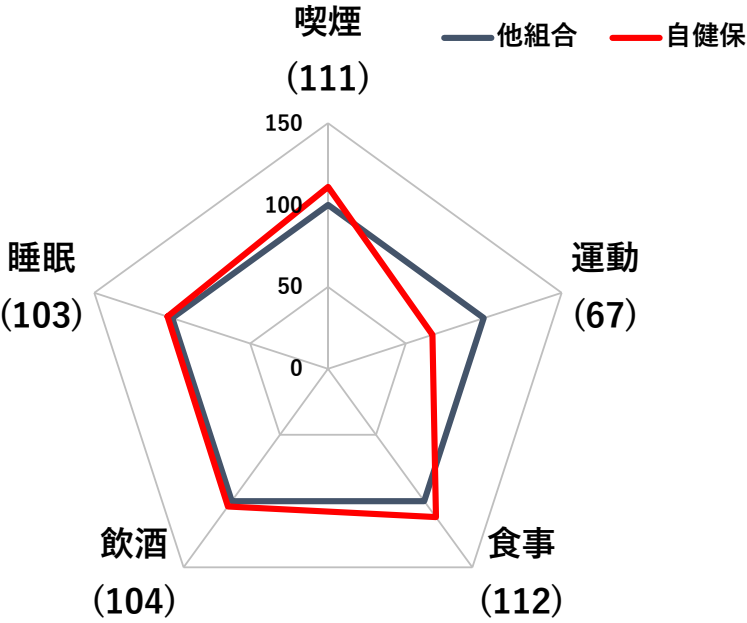
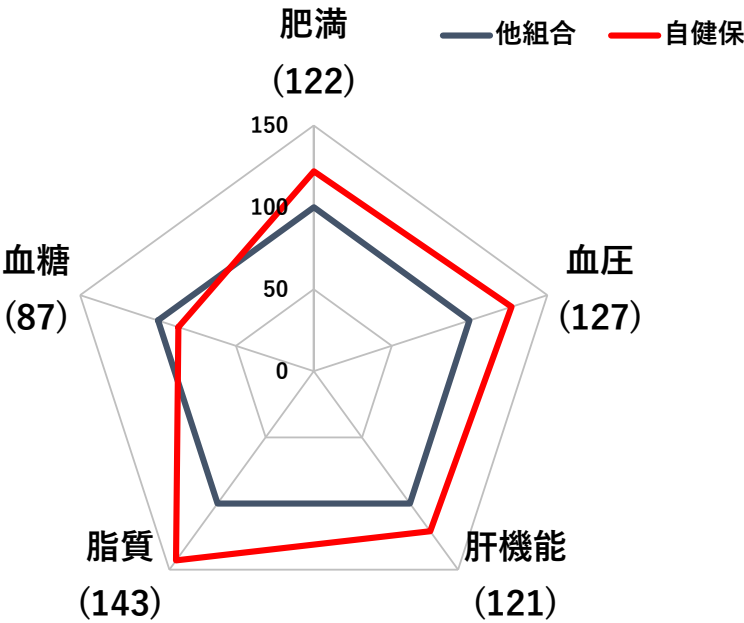
他組合と比べ血糖リスク者割合が高く、改善に向けた対策の強化が必要
他組合と比べ運動リスク者割合が高く、改善に向けた対策の強化が必要

健康状況

生活習慣

※グラフが外側に広がるほど良好

() 内はスコア



		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	122	127	121	143	87
	非リスク者数	3,699	4,070	4,112	4,880	3,459
	リスク者数	2,076	1,704	1,660	892	2,313
	リスク者割合	35.9%	29.5%	28.8%	15.5%	40.1%
他組合	リスク者割合	43.7%	37.5%	34.8%	22.1%	35.0%

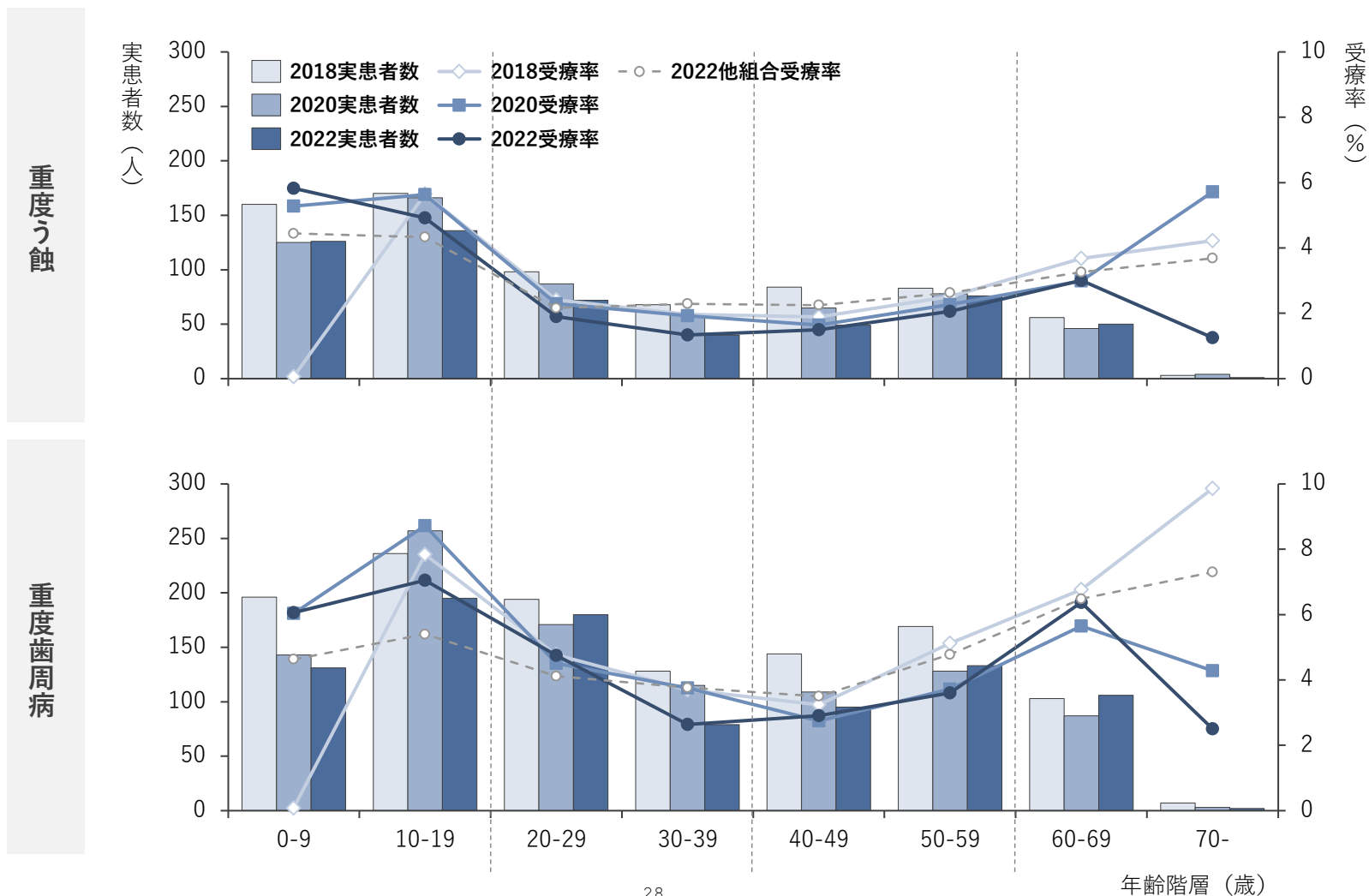
		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	111	67	112	104	103
	非リスク者数	4,651	1,274	4,435	5,376	3,711
	リスク者数	1,124	4,498	1,336	398	2,062
	非リスク者割合	80.5%	22.1%	76.8%	93.1%	64.3%
他組合	非リスク者割合	72.8%	32.8%	68.7%	89.2%	62.2%

歯科対策 重症化予防 〈重度う蝕／重度歯周病 年齢階層別 受療率比較〉

※対象レセプト：歯科
 ※疑い傷病：除く

全ての年代ごとに、う蝕又は歯周病の重度疾患が存在している。加入者全体に向けて定期（早期）受診を促す必要がある

年齢階層別 実患者数と受療率（経年比較）

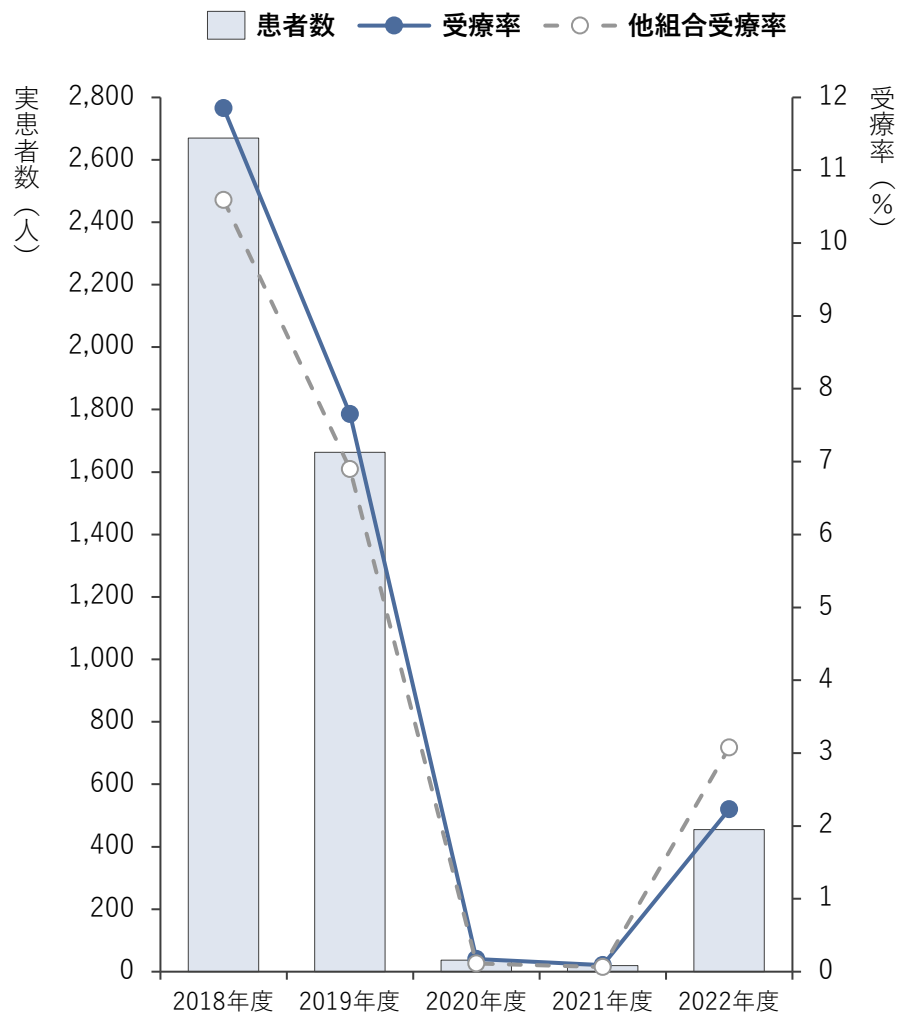


予防接種関連疾患分析 インフルエンザ

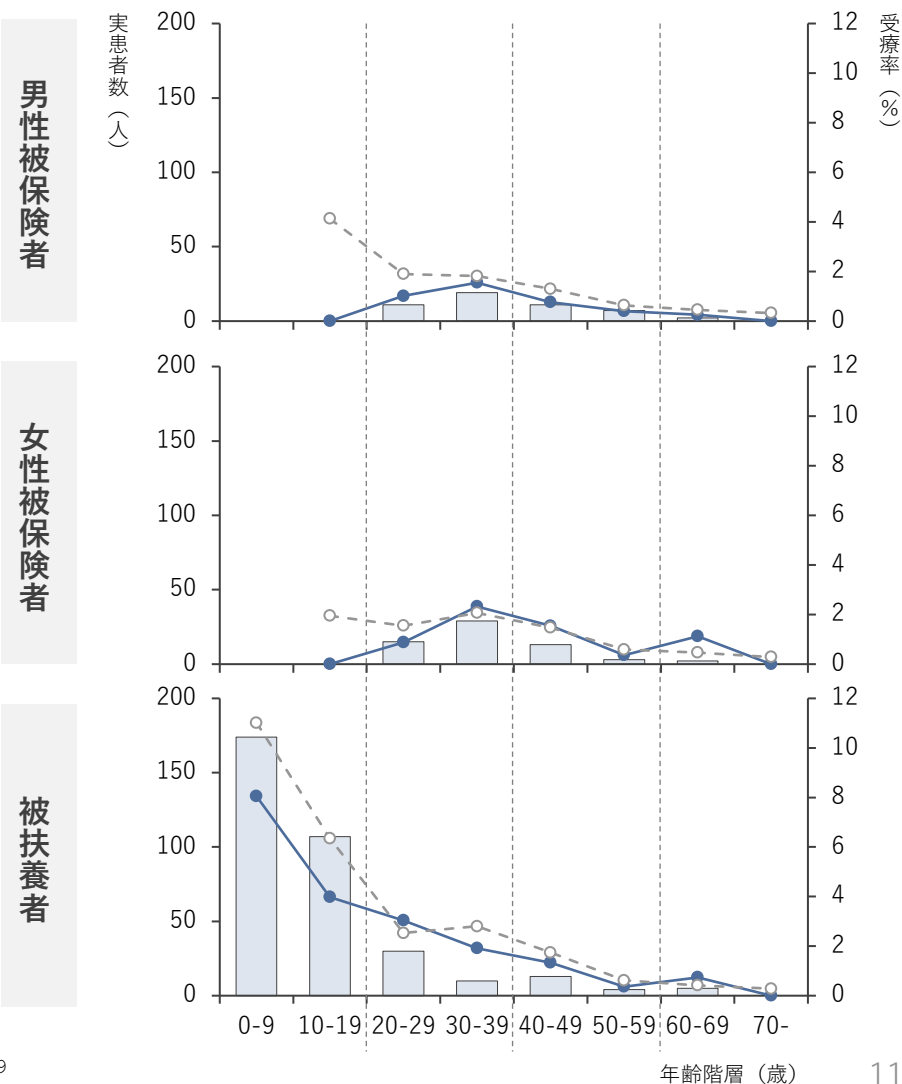
※対象レセプト：医科
※疑い傷病：除く

インフルエンザの患者数は新型コロナウイルスの影響で激減していたが、直近年度では過去年度ほどではないが大幅に増加。予防接種等による、発症および重症化予防に向けた取り組みの継続が必要

健保全体 インフルエンザの受療状況



2022年度 年齢階層別インフルエンザの受療状況



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	健診受診率は過去5年で徐々に上昇。伸びしろは被扶養者であり、受診率上昇に向けた対策の強化が必要	➡	健診受診機会の周知および健診未受診者への受診勧奨を実施	✓
2	イ	特定保健指導の対象者割合は直近3年でやや減少しているが、服薬者割合が増加傾向にあり注意が必要	➡	特定保健指導の重要性・必要性の認知度を高めるために、保健指導参加機会の提供、周知を行う	✓
3	ウ	若年者においてリスク該当者割合が多く存在しており、40歳未満の若年者向けの対策が必要	➡	生活習慣の改善を図り、将来的に特定保健指導対象者への流入を防止する	✓
4	エ	過去と比べ正常群の割合が減少し、生活習慣病重症化群として治療中の割合は過去と比べ増加傾向。重症化予防として早期治療に繋げるための対策の強化が必要	➡	健康の保持、増進、生活習慣の改善を促し、適切な医療へ導く	
5	オ、カ	血糖リスク者割合が全組合平均（32.8%）と比べ36.9%と高く、改善に向けた対策の強化が必要である	➡	血糖リスク者に対しては、専任医師面接や健康相談等を通じ、生活習慣の改善指導を行う また、宿泊型の保健指導（スマート・ライフ・ステイ）への参加を促す	✓
6	キ、ク	がんの医療費では、乳がん、肺がんの順で多く、早期発見・治療による対策の重要性を今一度認識し、適切な事業を展開する必要がある	➡	要精密検査者」に対する受診勧奨を強化し早期受診に繋げる 6年度より婦人科検診および家族健診補助金を引き上げ、受診率の向上を図る	
7	ケ	他組合と比べ、40代以上の被保険者のメンタル受療率が高い。50代は受療率・患者数共に増加傾向にあり、悪化を防ぐためのフォローが必要	➡	健康相談に案内し、必要に応じて事業所への支援を行う	
8	コ、サ	乳がん、月経関連疾患の医療費が増加傾向 被保険者、被扶養者ともに各年代で子宮頸がん患者が存在する。若年層においても患者が存在し、HPVワクチンの接種補助など対策の検討が必要	➡	乳がん、子宮がん等婦人科特有の疾病の早期発見、早期治療を図る	✓
9	シ	ジェネリック数量比率は令和4年度末現在81.8%であり、国が定めた目標値の80%は超えているが、全組合平均（83.0%）と比べ低い状態である	➡	機関誌等を通じ継続的な啓蒙活動を実施する 後発医薬品への切替余地があるターゲットへ重点的に周知を促す（年2回）	✓
10	ス	喫煙率は緩やかな減少傾向にあるが、直近は下げ止まっている印象があり、改善に向けた対策の強化が必要	➡	被保険者の健康増進及び疾病予防、受動喫煙を防止する	
11	セ、ソ	運動習慣を有する者の割合が全組合平均（32.5%）と比べ22.0%と低く、改善に向けた対策の強化が必要である 特に女性被保険者の運動習慣を有する者の割合が低い	➡	ICTを活用した健康イベント（マイヘルスアップキャンペーン）を継続するとともに、6年度より健康ウォーク（WE B）を再開し、運動習慣の定着を図る	✓
12	タ	全ての年代ごとに、う蝕又は歯周病の重度疾患者が存在している。加入者全体に向けて定期（早期）受診を促す必要がある	➡	齲蝕の予防、早期発見および口腔ケアの促進を図る	
13	チ	インフルエンザの患者数は新型コロナウイルスの影響で激減していたが、直近年度では過去年度ほどではないが大幅に増加。予防接種等による、発症および重症化予防に向けた取り組みの継続が必要	➡	被保険者、被扶養者1名に対し2,000円を上限とした実費を補助し重症化を防ぐ	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・ 特定健康診査受診率および特定保健指導受診率は、いずれも全健保組合平均よりも高い。	➡	これまで同様、委託先の拡充及び組合の介入を図り、特定健診・特定保健指導実施率の向上に努める。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・ 当組合の課題である運動習慣を有する者の割合が低いこと、また、血糖リスク者割合が高いことについて、今後も改善に向けた対策の強化が必要である。	➡	引き続きICTを活用した健康イベント等を継続し、運動習慣の定着を図る。また、血糖リスク者に対しては、専任医師面接や健康相談等を通じ、生活習慣の改善指導を行う。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

1.特定健康・特定保健指導について、健診受診率は過去5年で徐々に上昇。伸びしろは被扶養者であり、受診率上昇に向けた対策の強化が必要。また、特定保健指導の対象者割合は直近3年でやや減少しているが、服薬者割合が増加傾向にあり注意が必要

2.血糖リスク者割合が全組合平均（32.8％）と比べ36.9％と高く、改善に向けた対策の強化が必要である。また、運動習慣を有する者の割合が全組合平均（32.5％）と比べ22.0％と低く、改善に向けた対策の強化が必要である。

事業全体の目標

1.健診受診機会の周知および健診未受診者への受診勧奨を実施する。また、特定保健指導の重要性・必要性の認知度を高めるために、保健指導参加機会の提供、周知を行う。

2.血糖リスク者に対しては、専任医師面接や健康相談等を通じ、生活習慣の改善指導を行う。また、ICTを活用した健康イベント（マイヘルスアップキャンペーン）を継続するとともに、6年度より健康ウォーク（W E B）を再開し運動習慣の定着を図る。

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	愛信健康管理委員の集い
保健指導宣伝	健康管理セミナー
保健指導宣伝	機関誌およびすこやかファミリーの配付
保健指導宣伝	新入職員健康教室
保健指導宣伝	マイヘルスレポートの配付
保健指導宣伝	マイヘルスアップキャンペーン
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査（被保険者）
特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）
保健指導宣伝	健康管理推進委員会
保健指導宣伝	事務担当者打ち合わせ会
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品使用促進通知
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	受診行動適正化指導
疾病予防	定期健診
疾病予防	短期人間ドック
疾病予防	任継・家族健診補助金
疾病予防	婦人科検診補助金
疾病予防	がん検診補助金
疾病予防	歯科健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金
疾病予防	こころとからだの健康相談
疾病予防	健康相談
疾病予防	専任医師面接
疾病予防	糖尿病重症化予防事業（スマート・ライフ・ステイ）
疾病予防	慢性腎臓病重症化予防事業
疾病予防	二次検査受診勧奨
疾病予防	禁煙サポート事業
疾病予防	郵送による大腸がん検診
疾病予防	ポリファーマシー通知
体育奨励	健康づくりセミナー生活改善特別コース
体育奨励	野球大会
体育奨励	卓球大会
体育奨励	ソフトテニス大会
体育奨励	W E B版健康ウォーク

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連			
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画									
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標										
職場環境の整備																						
加入者への意識づけ																						
保健指導 宣伝	2	既存	愛信健康管理委員の集い	全て	男女	0～74	被保険者	3	ケ	-	ア	-	健康管理についての知識を深め、各事業所の健康管理委員を対象に年1回講師を招き実施する	-	継続	-	継続	-	継続	-	健康管理についての知識を深める。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	年1回開催(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-													(アウトカムは設定されていません)								
	2	既存	健康管理セミナー	全て	男女	0～74	被保険者	3	ケ	-	ア	-	事業所役員クラスを対象に年1回開催する	-	継続	-	継続	-	継続	-	健康管理についての知識を深める。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	年1回開催(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-													(アウトカムは設定されていません)								
	2	既存	機関誌およびすこやかファミリーの配付	全て	男女	0～74	被保険者	3	ケ	-	ア	-	年6回、奇数月に発行する。健康情報誌すこやかファミリーと併せ被保険者自宅に送付する。	-	継続	-	継続	-	継続	-	組合事業の周知および健康情報の発信により、健康意識の向上を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	全被保険者への配付率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													(アウトカムは設定されていません)								
5	既存	新入職員健康教室	全て	男女	0～74	被保険者	2	オ	-	ア	-	各事業所が実施する新入職員研修に保健師を派遣し、健保の制度や健康管理に関する教育を実施し、知識・意識の向上を図る。	-	継続	-	継続	-	継続	-	新入職員を対象に健保の制度や健康管理に関する教育を実施し、知識・意識の向上を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
年1回開催(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-													(アウトカムは設定されていません)									
2,5	既存	マイヘルスレポートの配付	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者	3	ス	-	ア	-	40歳～60歳の5年毎節目年齢の被保険者および被扶養者に健診結果を基にしたアドバイスを健康状態に合わせた情報を提供する。	-	継続	-	継続	-	継続	-	自身の健康状態を理解し、医療の必要性や生活習慣の改善等、ヘルスリテラシーの向上を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
対象者への配付率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													生活習慣改善意欲「意思なし」の割合の減少(【実績値】11.1% 【目標値】令和6年度：18% 令和7年度：17.5% 令和8年度：17% 令和9年度：16.5% 令和10年度：16% 令和11年度：15.5%)-									
2,5	新規	マイヘルスアップキャンペーン	全て	男女	0～74	被保険者,その他	3	エ	-	ア	-	被保険者および被扶養配偶者に健康づくりを支援するため、キャンペーンに参加していただき、健康的な生活習慣を身につけていただく。基準達成者には記念品を贈呈。	-	継続	-	継続	-	継続	-	当組合の健康課題のひとつである「運動習慣のない人の割合が高い」という状況を改善するため「気づき」の機会を提供し、行動変容を促すことで健康的な生活習慣の定着を図る。	運動習慣を有する者の割合が全組合平均（32.5%）と比べ22.0%と低く、改善に向けた対策の強化が必要である 特に女性被保険者の運動習慣を有する者の割合が低い	
対象者の参加人数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：1,800人 令和7年度：2,000人 令和8年度：2,200人 令和9年度：2,400人 令和10年度：2,600人 令和11年度：2,800人)-													被保険者の運動習慣良好者割合(【実績値】23.8% 【目標値】令和6年度：24% 令和7年度：24.2% 令和8年度：24.4% 令和9年度：24.6% 令和10年度：24.8% 令和11年度：25%)-									
個別の事業																						
特定健康診査事業	3	既存（法定）	特定健康診査（被保険者）	全て	男女	40～74	被保険者	3	イ,ウ,ケ	-	ア	-	事業主と協力し、受診環境の整備および未受診者に対する受診勧奨を徹底する	-	継続	-	継続	-	継続	-	生活習慣病の予防・改善のため、未受診者の把握に努め、受診率向上を図る。	健診受診率は過去5年で徐々に上昇。伸びしろは被扶養者であり、受診率上昇に向けた対策の強化が必要
	特定健診受診率(【実績値】99.4% 【目標値】令和6年度：99.3% 令和7年度：99.4% 令和8年度：99.4% 令和9年度：99.5% 令和10年度：99.5% 令和11年度：99.6%)-													内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度：14.4% 令和7年度：14.4% 令和8年度：14.2% 令和9年度：14.2% 令和10年度：14% 令和11年度：14%)-								
														-	-	-	-	-	-			

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢						実施計画												
												令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標												アウトカム指標												
	3	既存 （法定）	特定健康診査 （被扶養者）	全て	男女	40 ～ 74	被扶養者	1	イ,ウ,ケ	-	ア	-	事業主と協力し、受診環境の整備および未受診者に対する受診勧奨を徹底する。	継続	継続	継続	継続	継続	利便性の向上等、受診しやすい環境づくりに努め、受診率向上を図る。	健診受診率は過去5年で徐々に上昇。伸びしろは被扶養者であり、受診率上昇に向けた対策の強化が必要				
特定健診実施率(【実績値】 71.1% 【目標値】 令和6年度：71.0% 令和7年度：72% 令和8年度：73% 令和9年度：74% 令和10年度：75% 令和11年度：75%)-												内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：3.3% 令和7年度：3.3% 令和8年度：3.2% 令和9年度：3.2% 令和10年度：3.1% 令和11年度：3.1%)-												
特定保健指導事業	4	既存 （法定）	特定保健指導 （被保険者）	全て	男女	39 ～ 74	被保険者	3	オ,ク	-	ア	-	指導対象者に対し十分な実施機会を提供（対面教室・オンラインを対象者が選択可能）し、実施率の向上を目指す	継続	継続	継続	継続	継続	保健指導を通して行動変容を促し、メタボからの脱却を図る。	特定保健指導の対象者割合は直近3年でやや減少しているが、服薬者割合が増加傾向にあり注意が必要				
	特定保健指導実施率(【実績値】 58.0% 【目標値】 令和6年度：58.8% 令和7年度：60.4% 令和8年度：61.8% 令和9年度：63.3% 令和10年度：64.8% 令和11年度：65.6%)-												特定保健指導対象者割合(【実績値】 14.8% 【目標値】 令和6年度：14.8% 令和7年度：14.8% 令和8年度：14.6% 令和9年度：14.6% 令和10年度：14.4% 令和11年度：14.4%)-											
	4	既存 （法定）	特定保健指導 （被扶養者）	全て	男女	40 ～ 74	被扶養者	1	オ,ク	-	ア	-	指導対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す	継続	継続	継続	継続	継続	保健指導を通して行動変容を促し、メタボからの脱却を図る。	特定保健指導の対象者割合は直近3年でやや減少しているが、服薬者割合が増加傾向にあり注意が必要				
特定保健指導実施率(【実績値】 55% 【目標値】 令和6年度：55% 令和7年度：56.1% 令和8年度：57.3% 令和9年度：58.5% 令和10年度：59.8% 令和11年度：60%)-												特定保健指導対象者割合(【実績値】 7.2% 【目標値】 令和6年度：7.2% 令和7年度：7.2% 令和8年度：7% 令和9年度：7% 令和10年度：6.8% 令和11年度：6.8%)-												
保健指導宣伝	1	既存	健康管理推進委員会	全て	男女	0 ～ 74	被保険者	3	キ,ス	-	ア	-	年4回（5.8.11.1月）開催し事業所との連携を深める	継続	継続	継続	継続	継続	組合事業の周知および検討をするとともに事業所との連携を深める。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
	年間4回開催(【実績値】 4回 【目標値】 令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)-												(アウトカムは設定されていません)											
	1	既存	事務担当者打ち合わせ会	全て	男女	0 ～ 74	被保険者	1	ス	-	ア	-	年1回（6月）に開催	継続	継続	継続	継続	継続	事業所担当者を対象に組合事業の周知と情報交換を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
	年間1回開催(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												(アウトカムは設定されていません)											
	7	既存	ジェネリック医薬品使用促進通知	全て	男女	0 ～ 74	被保険者,被扶養者	3	ク	-	ア	-	年2回差額通知を送付し、後発医薬品の利用率を高める	継続	継続	継続	継続	継続	ジェネリック医薬品の利用率を高め医療費適正化を図る。	ジェネリック数量比率は令和4年度末現在81.8%であり、国が定めた目標値の80%は超えているが、全組合平均（83.0%）と比べ低い状態である				
	対象者への通知実施率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												後発医薬品への切替率(【実績値】 81.8% 【目標値】 令和6年度：82% 令和7年度：82.3% 令和8年度：82.5% 令和9年度：82.7% 令和10年度：82.9% 令和11年度：83%)-											
2	既存	医療費通知	全て	男女	0 ～ 74	被保険者,被扶養者	3	ス	-	ア	-	毎月（年12回）ウェブサイトで医療費通知を掲載し閲覧可能	継続	継続	継続	継続	継続	医療費に関する認識の向上を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
毎月（年間12回）のお知らせ(【実績値】 12回 【目標値】 令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-												(アウトカムは設定されていません)												
1	既存	受診行動適正化指導	全て	男女	0 ～ 74	被保険者,被扶養者	1	イ	-	ア	-	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少のため、対象者に対して適切な保健指導を行う	継続	継続	継続	継続	継続	重複・頻回受診者数、重複服薬者への指導を実施し、医療費の適正化を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
指導対象者への通知(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少(【実績値】 0人 【目標値】 令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)-												
													-	-	-	-	-	-						

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連			
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
疾病 予防	3	既存	定期健診	全て	男女	0 ～ 74	被保険 者	3	イ,ウ	-	ア	-	4月～11月に各事業所に健 診車が巡回し実施する	継続	継続	継続	継続	継続	疾病の早期発見、早期治療を図る。	健診受診率は過去5年で徐々に上昇。 伸びしろは被扶養者であり、受 診率上昇に向けた対策の強化が必 要	
	対象者への通知実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												健診受診率の向上(【実績値】97.1% 【目標値】令和6年度：98.1% 令和7年度：98.2% 令和8年度：98.3% 令和9年度：98.4% 令和10年度：98.5% 令和11年度：98.6%)ー								
	3	既存	短期人間ドッ ク	全て	男女	35 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	3	イ,ウ,オ	-	ア,イ	-	毎年12月より翌年度の申し 込みを（ＷＥＢ）で募 り、県内29の契約機関で 実施し、費用の一部負担 を行う。	継続	継続	継続	継続	継続	詳細な検査を行うことにより疾病の早期発 見、早期治療を図る。また、各種オプシ ョン検査を推奨し、がん検診受診率向上を図 る。	健診受診率は過去5年で徐々に上昇。 伸びしろは被扶養者であり、受 診率上昇に向けた対策の強化が必 要	
	対象者への通知実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												受診率の向上（被保険者・被扶養配偶者）（【実績値】67.4% 【目標値】令和6年度：75.9% 令和7年度：76% 令和8年度：76.1% 令和9年度：76.2% 令和10年度：76.3% 令和11年度：76.4%)-								
	3,4	既存	任継・家族健 診補助金	全て	男女	35 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	3	イ	-	ア	-	被保険者を通して案内を 送付。県内の42の契約機 関で実施し、当組合が補 助を行う	継続	継続	継続	継続	継続	疾病の早期発見、早期治療を図る。	健診受診率は過去5年で徐々に上昇。 伸びしろは被扶養者であり、受 診率上昇に向けた対策の強化が必 要	
対象者への通知実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												通知者の受診率（任継、家族健診・共同巡回健診）(【実績値】15.8% 【目標値】令和6年度：14.5% 令和7年度：15% 令和8年度：15.5% 令和9年度：16% 令和10年度：16.5% 令和11年度：17%)-									
	1,3	既存	婦人科検診補 助金	全て	女性	20 ～ 74	被保険 者	3	イ,ウ	-	ア	-	定期健診を受診する女性 被保険者に案内を送付。8 000円を上限とする実費を 補助する	継続	継続	継続	継続	継続	乳がん、子宮がん等婦人科特有の疾病の早期 発見、早期治療を図る。	乳がん、月経関連疾患の医療費が 増加傾向 被保険者、被扶養者ともに各年代 で子宮頸がん患者が存在する。若 年層においても患者が存在し、HP Vワクチンの接種補助など対策の検 討が必要	
														継続	継続	継続	継続	継続			
対象者への通知実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												通知者の受診率(【実績値】5% 【目標値】令和6年度：5.2% 令和7年度：5.4% 令和8年度：5.6% 令和9年度：5.8% 令和10年度：6% 令和11年度：6.2%)-									
3	既存	がん検診補助 金	全て	男女	35 ～ 74	被扶養 者	3	ウ	-	ア	-	被保険者を通して案内を 送付。パート先や市町村 で特定健診を受診した被 扶養者を対象に、がん検 診に係る費用について補 助を行う	継続	継続	継続	継続	継続	各種がん等の早期発見・早期治療を図ると ともに、特定健診データの収集を行う。	がんの医療費では、乳がん、肺が んの順で多く、早期発見・治療に よる対策の重要性を今一度認識し 、適切な事業を展開する必要がある		
対象者への周知率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												補助金請求者数(【実績値】5件 【目標値】令和6年度：6件 令和7年度：7件 令和8年度：8件 令和9年度：9件 令和10年度：10件 令和11年度：11件)-									
3	既存	歯科健診	全て	男女	0 ～ 74	被保険 者	3	イ	-	ア	-	事業所巡回による定期健 診と併せ実施し、要治療 者へは受診勧奨を行う	継続	継続	継続	継続	継続	齲蝕の予防、早期発見および口腔ケアの促 進を図る。	全ての年代ごとに、う蝕又は歯周 病の重度疾患者が存在している。 加入者全体に向けて定期（早期） 受診を促す必要がある		
有所見者への受診勧奨率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												要受診者の受診率(【実績値】41.3% 【目標値】令和6年度：42% 令和7年度：43% 令和8年度：44% 令和9年度：45% 令和10年度：46% 令和11年度：47%)-									
8	既存	インフルエン ザ予防接種補 助金	全て	男女	0 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	3	イ	-	ア	-	接種者に対し2,000円を上 限とした実費を補助する	継続	継続	継続	継続	継続	罹患時の重症化を防ぐことを目的とする。	インフルエンザの患者数は新型コ ロナウィルスの影響で激減してい たが、直近年度では過去年度ほど ではないが大幅に増加。予防接種 等による、発症および重症化予防 に向けた取り組みの継続が必要		
補助対象者の接種率(【実績値】53.7% 【目標値】令和6年度：54% 令和7年度：54.5% 令和8年度：55% 令和9年度：55.5% 令和10年度：56% 令和11年度：56.5%)-												重症患者数(【実績値】0人 【目標値】令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)-									
5	既存	こころとから だの健康相談	全て	男女	0 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	3	ス	-	ア	-	利用者の悩みの解決や心 身の安定を図るため24時 間電話で対応する。また 、希望者には専門家によ る面談を実施する。年6回 発行の機関誌において周 知を図る	継続	継続	継続	継続	継続	利用者の悩みの解決や心身の安定を図る。	他組合と比べ、40代以上の被保険 者のメンタル受療率が高い。50代 は受療率・患者数共に増加傾向に あり、悪化を防ぐためのフォロー が必要		
機関誌掲載数(【実績値】6回 【目標値】令和6年度：6回 令和7年度：6回 令和8年度：6回 令和9年度：6回 令和10年度：6回 令和11年度：6回)-												(アウトカムは設定されていません)									
														-	-	-	-	-			

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標													アウトカム指標							
	6	既存	健康相談	全て	男女	0～74	被保険者	3	オ	-	ア	-	健診結果から保健師のアドバイスが必要と思われる方を対象に、生活習慣や健康管理についての助言、指導を実施する	継続	継続	継続	継続	継続	健康の保持、増進、生活習慣の改善を促し、適切な医療へ導く。	過去と比べ正常群の割合が減少し、生活習慣病重症化群として治療中の割合は過去と比べ増加傾向。重症化予防として早期治療に繋げるための対策の強化が必要
対象者通知率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													(アウトカムは設定されていません)							
	8	既存	専任医師面接	全て	男女	0～74	被保険者	3	オ	-	イ	-	健診結果から医師のアドバイスが必要と思われる方を対象に、生活習慣や健康管理についての助言、指導を実施する	継続	継続	継続	継続	継続	健康の保持、増進、生活習慣の改善を促し、適切な医療へ導く。	過去と比べ正常群の割合が減少し、生活習慣病重症化群として治療中の割合は過去と比べ増加傾向。重症化予防として早期治療に繋げるための対策の強化が必要
面接対象者通知率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													面接実施率(【実績値】52.6% 【目標値】令和6年度：52.8% 令和7年度：53% 令和8年度：53.2% 令和9年度：53.4% 令和10年度：53.6% 令和11年度：53.8%)-							
	4	既存	糖尿病重症化予防事業（スマート・ライフ・ステイ）	全て	男女	0～74	被保険者	1	イ	-	ア	-	HbA1cが高値の方を対象に、宿泊型の保健指導を実施し、糖尿病重症化予防を行う。	継続	継続	継続	継続	継続	生活習慣の改善を図り、糖尿病、合併症等の重症化を防止する。	血糖リスク者割合が全組合平均（32.8%）と比べ36.9%と高く、改善に向けた対策の強化が必要である
対象者への通知実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													指導完了者の検査値改善率(【実績値】63% 【目標値】令和6年度：63.5% 令和7年度：64% 令和8年度：64.5% 令和9年度：65% 令和10年度：65.5% 令和11年度：66%)-							
	4	既存	慢性腎臓病重症化予防事業	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	3	イ	-	ア	-	健診結果でeGFR値が低下している方のうち受診の確認ができていない方に腎通知を配付つ勧奨を行う	継続	継続	継続	継続	継続	将来、人工透析を必要とする末期腎不全や高度医療を必要とする脳卒中や心筋梗塞を発症する可能性がある方に対して重症化を防止する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
対象者への通知実施率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													勧奨後の受診率(【実績値】42.9% 【目標値】令和6年度：43% 令和7年度：44% 令和8年度：45% 令和9年度：46% 令和10年度：47% 令和11年度：48%)-							
	4,5	既存	二次検査受診勧奨	全て	男女	0～74	被保険者	1	イ	-	ア	-	健診受診後、異常値があるにもかかわらず医療機関受診が確認できない対象者に勧奨通知を送付する	継続	継続	継続	継続	継続	受診を促し、疾病の早期発見・早期治療を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
対象者への受診勧奨通知率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													健診異常値放置者数の減少(【実績値】1,125人 【目標値】令和6年度：1,115人 令和7年度：1,105人 令和8年度：1,095人 令和9年度：1,085人 令和10年度：1,075人 令和11年度：1,065人)-							
	5	新規	禁煙サポート事業	全て	男女	20～74	被保険者	1	ク	-	ア	-	禁煙外来治療にかかる費用の一部補助を行い、被保険者の健康増進、疾病予防を図る	継続	継続	継続	継続	継続	被保険者の健康増進及び疾病予防、受動喫煙を防止する。	喫煙率は緩やかな減少傾向にあるが、直近は下げ止まっている印象があり、改善に向けた対策の強化が必要
対象者への周知(機関誌等)（【実績値】1回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-													被保険者の喫煙率(【実績値】16.3% 【目標値】令和6年度：16% 令和7年度：15.7% 令和8年度：15.4% 令和9年度：15.1% 令和10年度：14.8% 令和11年度：14.5%)-							
	3	新規	郵送による大腸がん検診	全て	男女	35～74	被保険者	3	イ,ウ	-	ア	-	当該年度の健診で便潜血検査未実施者に対し自宅に検査キットを送付し実施する	継続	継続	継続	継続	継続	大腸がんの早期発見をめざす。	がんの医療費では、乳がん、肺がんの順で多く、早期発見・治療による対策の重要性を今一度認識し、適切な事業を展開する必要がある
対象者への通知実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													がん検診実施率(【実績値】22.1% 【目標値】令和6年度：23% 令和7年度：24% 令和8年度：25% 令和9年度：26% 令和10年度：27% 令和11年度：28%)-							
	5	新規	ポリファーマシー通知	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	3	イ	-	ア	-	薬剤処方において有害事象の発生リスクが高まる「6剤」以上の被保険者および被扶養者に対し、現在処方されている薬の数や種類、および飲み合わせや長期服用により注意が必要な方に通知を行い、服薬の適正化を図る。	継続	継続	継続	継続	継続	現在処方されている薬の数や種類、および飲み合わせや長期服用により注意が必要な方に通知を行い、服薬の適正化を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
対象者への通知実施率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													(アウトカムは設定されていません)							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連			
				対象 事業所	性別	年 齢						対象者	実施計画									
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度		
体育 奨励	アウトプット指標												アウトカム指標									
	5	既存	健康づくりセミナー生活改善特別コース	全て	男女	25～35	被保険者	3	オ	-	ア	-	25・30・35歳で生活習慣病のリスクがある方を対象とし、1日コースのセミナーの中で必要な知識を習得し生活習慣の改善を図る	継続	継続	継続	継続	継続	生活習慣の改善を図り、将来的に特定保健指導対象者への流入を防止する。	若年者においてリスク該当者割合が多く存在しており、40歳未満の若年者向けの対策が必要		
	受講率(【実績値】 72.4% 【目標値】 令和6年度：73% 令和7年度：74% 令和8年度：75% 令和9年度：76% 令和10年度：77% 令和11年度：78%)-												(アウトカムは設定されていません)									
	8	既存	野球大会	全て	男女	0～(上限なし)	被保険者	3	ス	-	ア	-	愛知県信用金庫協会と共催で年1回開催する	継続	継続	継続	継続	継続	被保険者の健康保持・増進を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
	年1回開催(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												(アウトカムは設定されていません)									
	8	既存	卓球大会	全て	男女	0～(上限なし)	被保険者	3	ス	-	ア	-	愛知県信用金庫協会と共催で年1回開催する	継続	継続	継続	継続	継続	被保険者の健康保持・増進を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
	年1回開催(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												(アウトカムは設定されていません)									
8	既存	ソフトテニス大会	全て	男女	0～(上限なし)	被保険者	3	ス	-	ア	-	愛知県信用金庫協会と共催で年1回開催する	継続	継続	継続	継続	継続	被保険者の健康保持・増進を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
年1回開催(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												(アウトカムは設定されていません)										
5	新規	WEB版健康ウォーク	全て	男女	0～74	被保険者、被扶養者	3	ア	-	ア	-	被保険者および被扶養配偶者に健康づくりを支援するため参加いただき、健康的な生活習慣を身につけていただく。達成者には記念品を贈呈。	継続	継続	継続	継続	継続	当組合の健康課題のひとつである「運動習慣のない人の割合が高い」という状況を改善するため「気づき」の機会を提供し、行動変容を促すことで健康的な生活習慣の定着を図る。	運動習慣を有する者の割合が全組合平均（32.5%）と比べ22.0%と低く、改善に向けた対策の強化が必要である 特に女性被保険者の運動習慣を有する者の割合が低い			
対象者の参加人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1,500人 令和7年度：1,600人 令和8年度：1,700人 令和9年度：1,800人 令和10年度：1,900人 令和11年度：2,000人)-												被保険者の運動習慣良好者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：24% 令和7年度：24.2% 令和8年度：24.4% 令和9年度：24.6% 令和10年度：24.8% 令和11年度：25%)-										

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス／ライブラリーの設置) シ. その他